

# 世界が 懸念 していること

2026年4月

# 目次

1

サマリー

2

重要ポイント

3

国別スポットライト：  
米国

4

懸念スポットライト：  
国家間の軍事的な  
対立

5

世界の懸念：  
長期的トレンド

6

経済フォーカス

7

調査手法

# 世界が懸念していること

## 編集者からの注記

今月号では、米国の世論に焦点を当てた特集を掲載しています。イランとの戦争が3か月目に突入する中、軍事紛争に対する懸念の度合いがどのように変化しているかについても詳しく取り上げています。

今月から、インドの調査対象構成が混合方式からオンライン限定方式に変更されました。この調査手法の変更に伴い、本レポートの今号では、インドに関する前月比および前年同月比の比較は掲載されておりません。

詳細な説明については、[調査手法のページ](#)をご覧ください。

詳細については、  
**Joseph.Nadler@ipsos.com**  
までご連絡ください。

# 世界が懸念していること

イプソスの「世界が懸念していること」調査では、世界30か国で現在最も重要な社会問題や政治問題は何であると考えているのかを調査し、最新のスコアとその背景を10年分のデータをもとに探ります。

このグローバルサマリーレポートでは、世界中で最も懸念されていることを、自国が正しい方向/間違った方向のどちらに進んでいるかという人々の意見と共にご紹介しています。

国別、期間別、懸念事項別の調査結果の詳細な内訳もご覧いただけます。詳細については [Joseph.Nadler@ipsos.com](mailto:Joseph.Nadler@ipsos.com) までお問い合わせください。

# 現在の経済状況

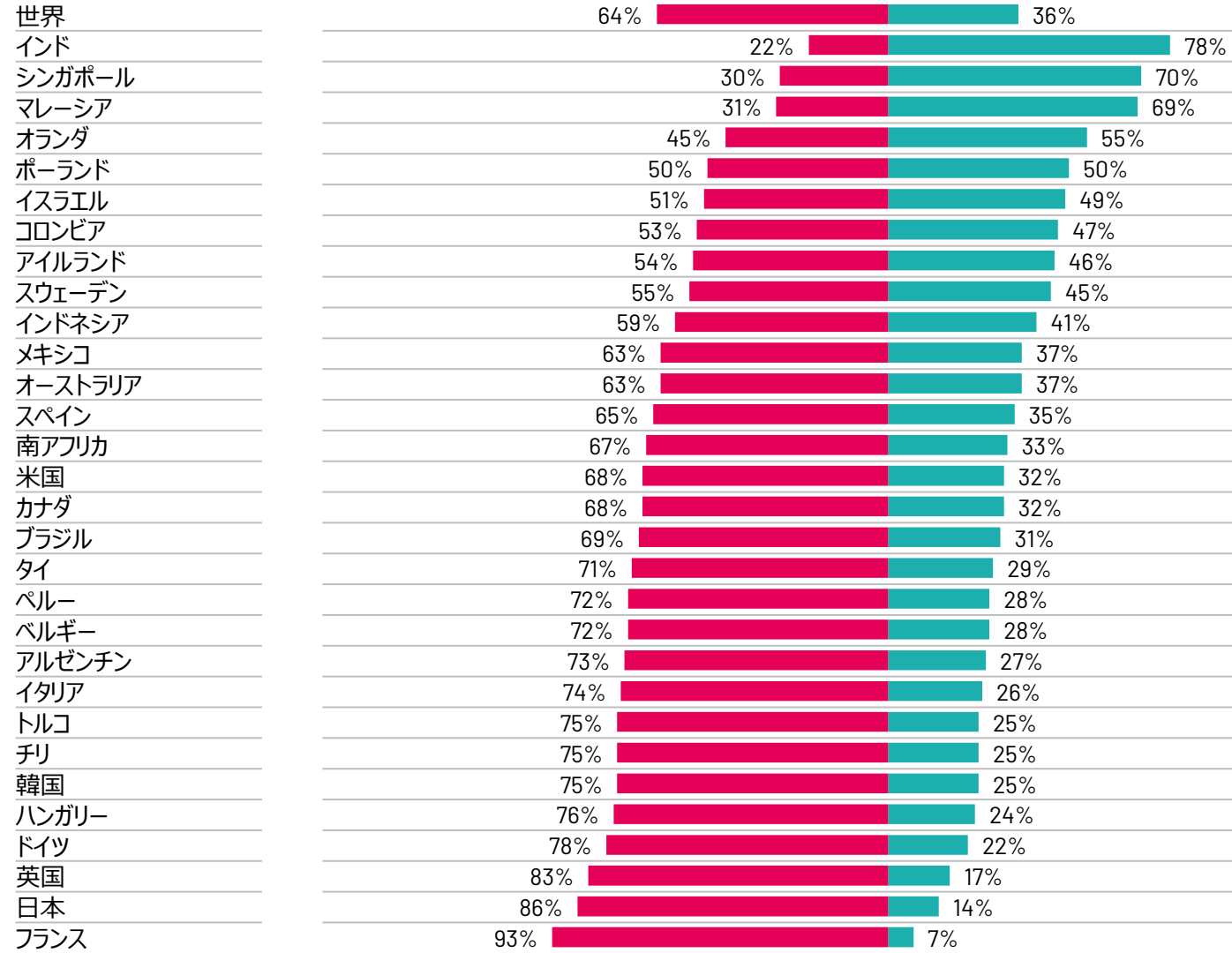
対象: 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

## 国

### Q:自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



良い 悪い

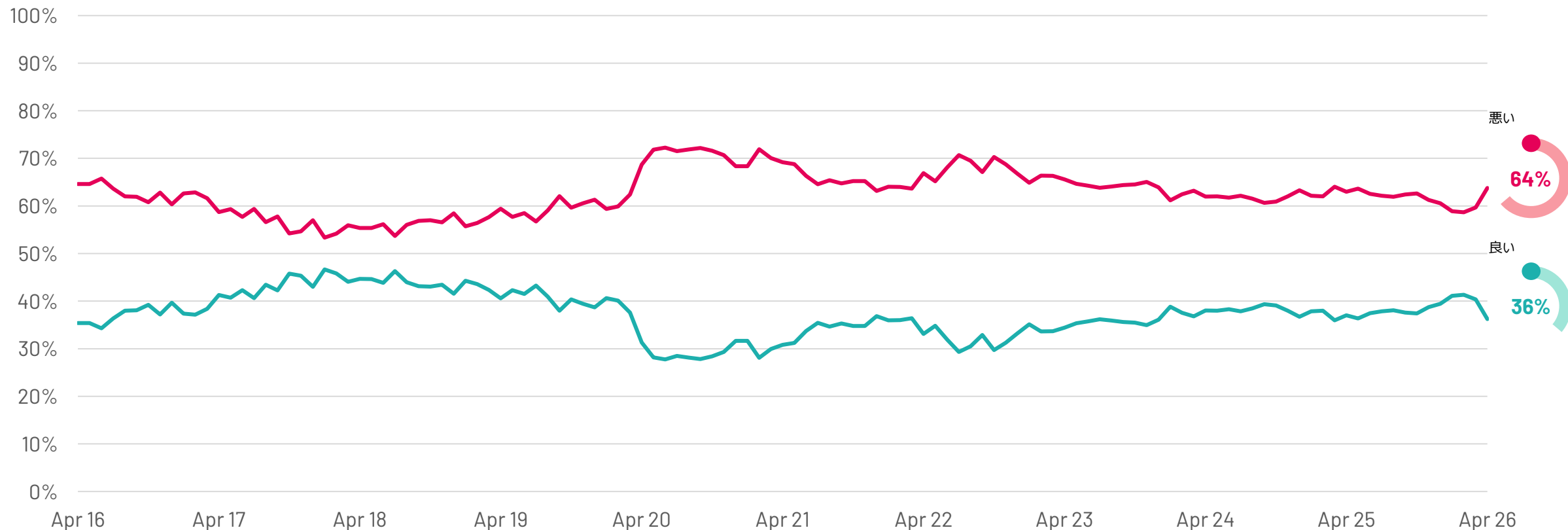


前月からの変化	12か月間の変化
-4	-1
N/A	N/A
-6	-14
-7	-1
-4	-2
-3	+6
+10	+14
+2	+19
-4	-12
+1	+12
-5	-10
-1	-11
-11	-6
-6	-4
+7	+6
-8	-5
-4	+2
-1	-1
-17	-16
-8	+9
-4	-6
-2	-2
-5	-4
-2	+3
-15	-8
-17	+19
=	+5
-7	-6
-4	-9
-5	+4
-5	-10



# 世界経済の現状

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。  
(「とても良い」または「やや良い」と「とても悪い」または「やや悪い」の合計割合)



対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

# 重要ポイント

## 1. 生活費への懸念が再びトップに

先月は、中東で続く紛争の影響について、3月の実地調査期間中に始まったばかりであったため、あまり詳しく述べることはできませんでした。今月、その影響が顕在化していることが確認でき、特に生活費に対する人々の懸念の高まりが顕著です。

インフレは再び30か国において最大の懸念事項となっており、それを挙げた割合は先月から4ポイント増加し、3分の1(33%)に達しました。

30か国のうち21か国でインフレに関して増加が見られました。アジア太平洋地域とヨーロッパで最も急激な上昇が見られ、例えば、日本の懸念レベル(現在36%が懸念)は10年ぶりの高水準に達し、フランス(38%)は12ポイント上昇しました。

## 2. 軍事紛争への懸念が高まっている

30か国における国家間の軍事的な対立を懸念する割合は、先月から7ポイント上昇し、5分の1(19%)となりました。これは、ロシアによるウクライナへの全面侵攻を受けて2022年4月にこの懸念項目が調査リストに追加されて以来、最も高い数値です。現在、この懸念は移民管理や気候変動よりも大きな懸念事項となっています。

30か国のうち26か国で懸念が高まっており、9か国では2桁の増加が見られました。米国では懸念度が2倍以上に跳ね上がり、15ポイント増の27%となりました。これは、昨年7月のイラン攻撃後の2025年7月と同水準です。現在、懸念事項の順位は3位となっています。一方、英国では懸念度が18ポイント上昇して31%となり、過去最高を記録しました。

## 3. 経済への楽観的な見通しが打ち砕かれる

今年2月、30か国において経済状況を「良い」と捉える割合は41%に達し、6年ぶりの高水準を記録しました。今月の数値は4ポイント低下して36%となり、これは2025年5月と同水準です。

インフレへの懸念と同様に、最も悲観的な国々は、この紛争による打撃を最も受けている国々です。中東への輸出に大きく依存しているアジア太平洋地域の国々では、数値が急落しています。例えばオーストラリアでは、数値が11ポイント低下して37%となり、2020年10月(33%)以来の低水準となりました。

フランスでは、経済状況を「良い」と考える人の割合が5ポイント低下して7%となり、10年ぶりの低水準を記録しました。

## 重要データ

# 27%

の米国人が、軍事紛争を懸念していると答えており、15ポイント増加しました。

# 7%

のフランス人が、自国の経済状況が「良い」と答えており、過去10年間で最低の水準です。

# 36%

の日本人が、インフレが問題だと答えており、これは日本において過去10年間で最も高い数値です。

# 45%

のイスラエル人が、自国が「正しい方向に向かっている」と考えており、先月から14ポイント上昇しました。

# 36%

のドイツ人が、不平等が主要な課題の一つであると回答しており、これが最大の懸念事項となっています。

# 47%

のポーランド人が、軍事紛争を懸念しており、最も懸念している事項となっています。

さらに詳しく知りたい  
ですか？

調査対象の全30か国ごとの  
個別レポートを作成しました。

お問い合わせ:

[joseph.nadler@ipsos.com](mailto:joseph.nadler@ipsos.com)

までお問い合わせください。

# 世界が懸念していること 2026年4月

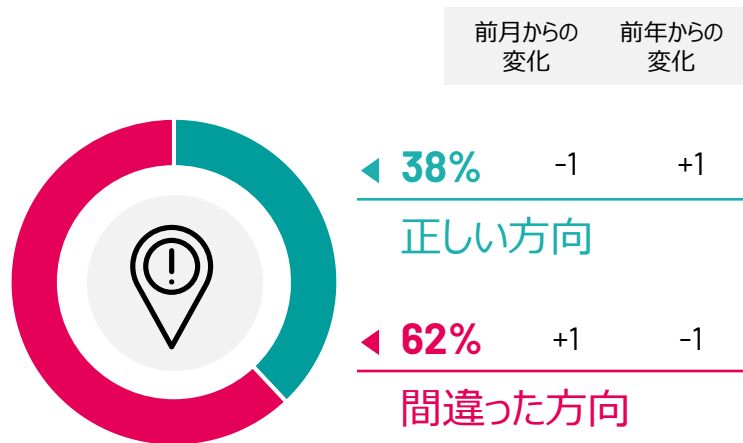
## 最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

	前月からの 変化	前年からの 変化
インフレ	+4	=
犯罪/暴力	-2	-1
貧困/社会的不平等	-1	=
失業率/雇用	-1	+1
汚職、経済的・政治的スキャンダル	-2	-1

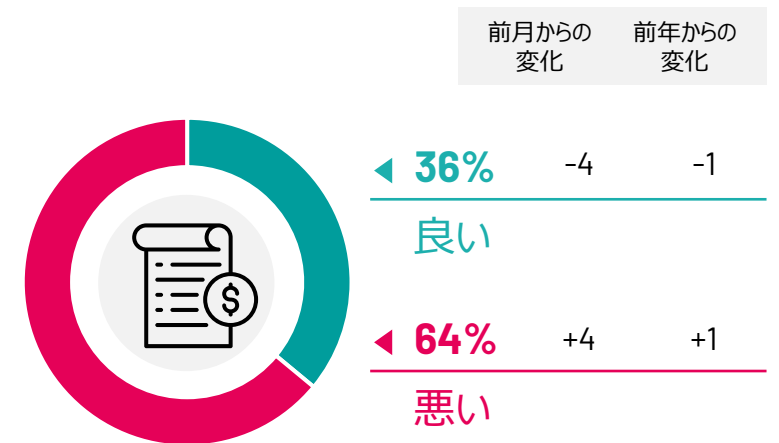
## 国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



## 経済の状況

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



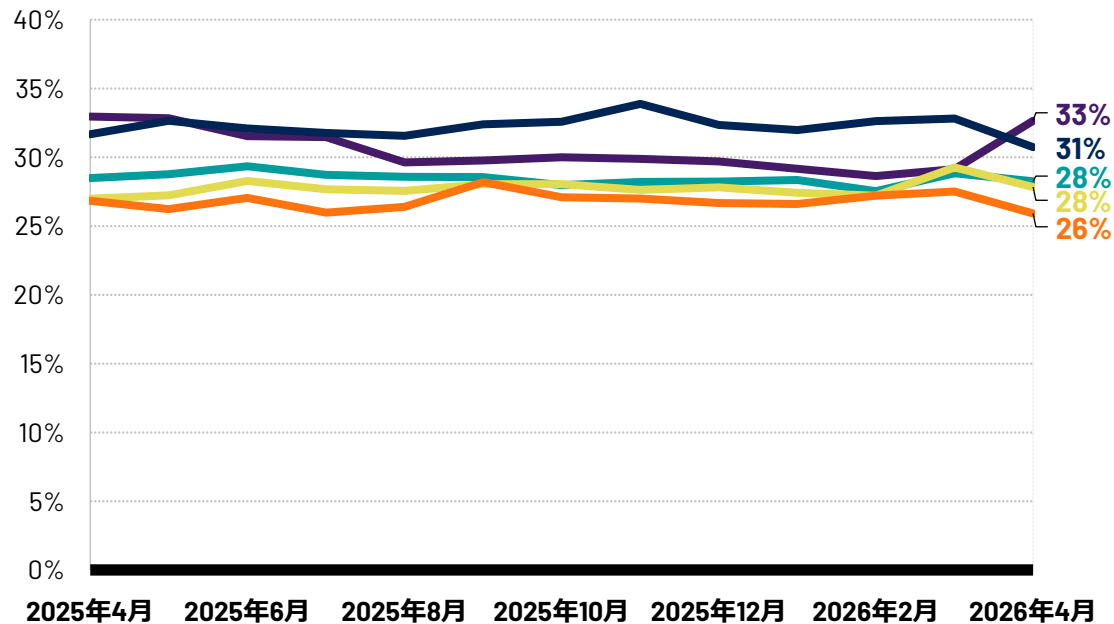
調査対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

# 世界が懸念していること 12か月間のトレンド

## 最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。



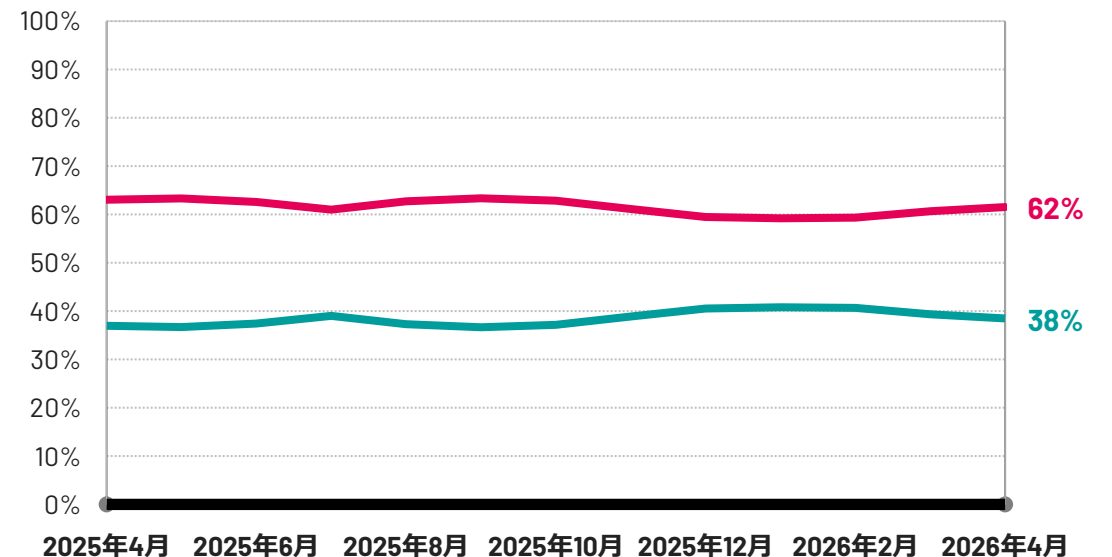
インフレ      犯罪      不平等      失業      汚職

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

## 国の状況

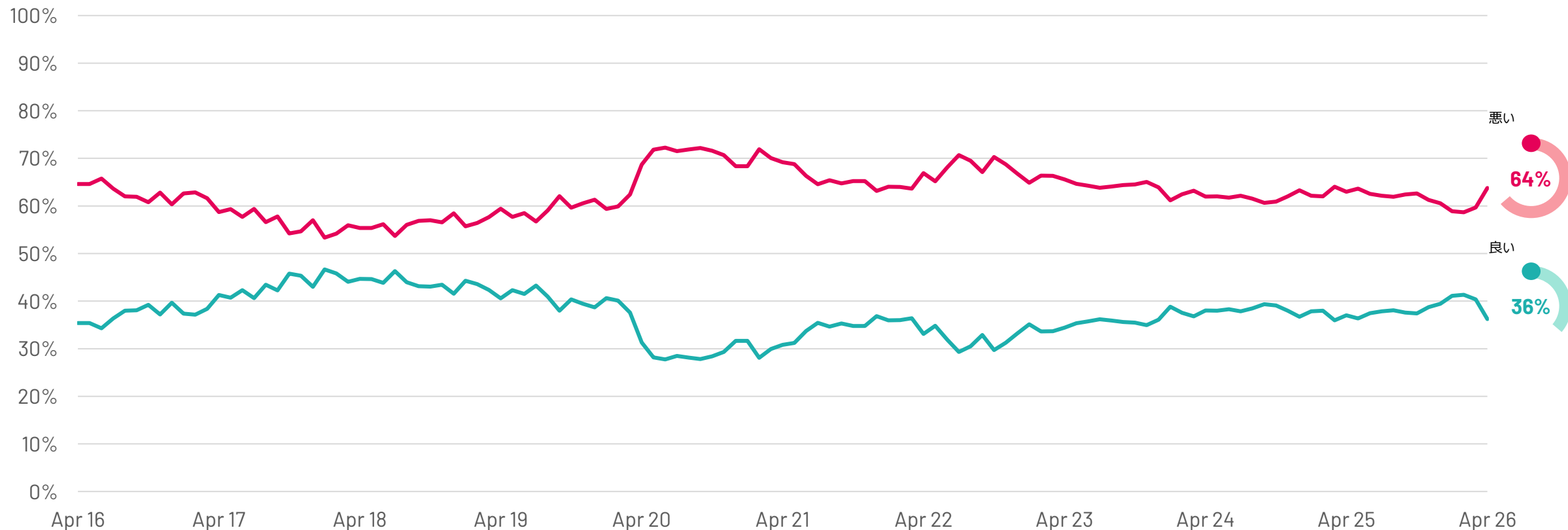
Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



正しい方向      間違った方向

# 世界経済の現状

Q:自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。  
(「とても良い」または「やや良い」と「とても悪い」または「やや悪い」の合計割合)



対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

# 国別スポットライト: 米国

# 米国サマリー: 2026年4月

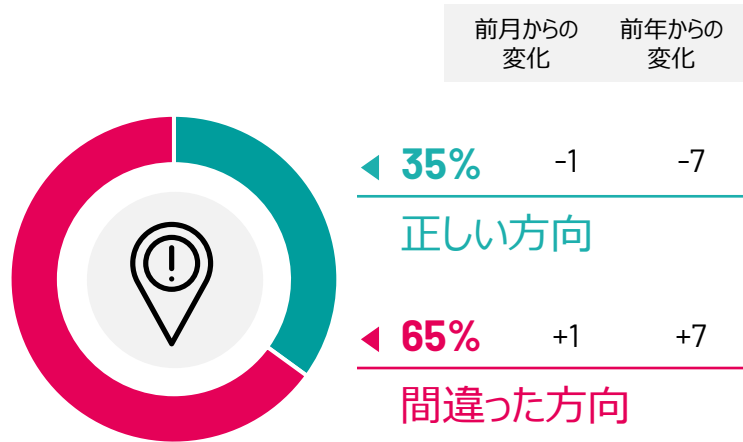
## 最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

	前月からの 変化	前年からの 変化
インフレ	=	-2
汚職、経済的・政治的スキャンダル	-2	+1
国家間の軍事的な対立	+15	+15
医療	-4	-1
犯罪/暴力	-2	-3

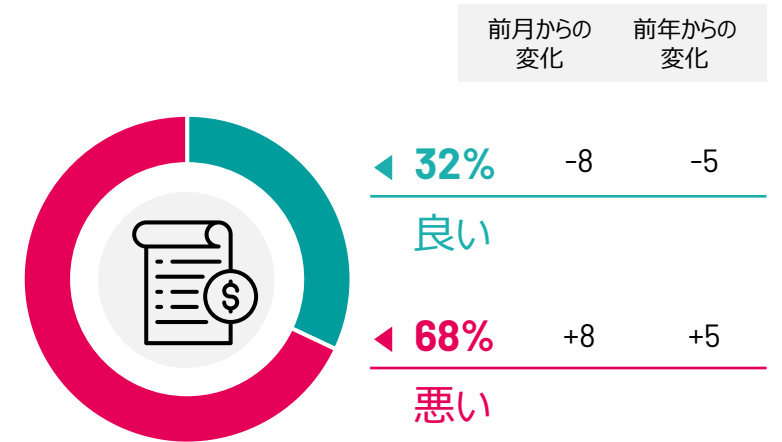
## 国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



## 経済の状況

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



対象: 毎月約1,000名の16~74歳の米国の代表的なサンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。フィルター: 国: 米国 | 最新調査: 2026年4月

# 国別スポット ライト: 米国

2025年11月号では、ドナルド・トランプ大統領の再選から1年が経過した時点での人々の認識に焦点を当て、米国を取り上げました。それから6か月が経ち、今回は何が変化し、何が変化しなかったかを振り返ります。

特に注目すべきは、米国がイランを攻撃した直後のこの1か月間で、国家間の軍事的な対立に対する懸念が劇的に高まったことです。先月比で15ポイント上昇し、27%の米国人がこれを主要な問題の一つとして挙げており、汚職、経済的・政治的スキャンダル(31%)やインフレ(38%)に次ぐ第3位となっています。この問題については、民主党支持者(29%が

言及)と共和党支持者(23%)の間で比較的意見が一致しています。

インフレに対する米国人の懸念度は依然として高く、2022年2月以来、最も大きな懸念事項となっています。他の国々とは異なり、米国のスコアは今月変化していません。変化が見られるのは、経済に対する人々の認識です。自国の経済状況を「良い」と考える米国人の割合は、先月から8ポイント低下し、32%となりました。

# 27%

が、**国家間の軍事的な対立**が米国が直面する主要な課題の一つであると答えており、先月より15ポイント増加しました。

対象: 毎月約1,000名の16~74歳の米国の代表的なサンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 米国 | 最新調査: 2026年4月

# 国別スポット ライト: 米国



**対象:** 毎月約1,000名の16~74歳の米国の代表的なサンプル

**出典:** イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

**フィルター:** 国: 米国 | 最新調査: 2026年4月

しかし、ここでもまた、明確な政治的分断が見られ、共和党支持者の53%が経済に対して楽観的であるのに対し、民主党支持者は19%にとどまっています。

米国人の楽観主義も、全体的に打撃を受けているようです。「国は正しい方向に進んでいる」と考える人の割合は、過去12か月間で7ポイント低下しました。これは、最近の『[America 250: Enduring Values, Evolving Identity](#)』レポートにも反映されており、52%が「国の最盛期は過ぎ去った」と考えており、77%が「国の将来について深刻な懸念を抱いている」と答えています。さらに、

57%が多くの問題について分断されていると感じており、国として分裂しつつあります。

とはいえ、同レポートは楽観的な見方も示しており、88%が「より一層の団結が緊急に必要である」ことに同意しています。さらに、84%が「共通の目的で団結すれば、達成できないことは何もない」と述べています。

# 53%

の共和党支持者%が「国は正しい方向に向かっている」と感じているのに対し、民主党員では19%にとどまっています。

# 国別スポット ライト: 米国



**対象:** 毎月約1,000名の16~74歳の米国の代表的なサンプル

**出典:** イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

**フィルター:** 国: 米国 | 最新調査: 2026年4月

イプソスUSシニア・バイスプレジデントであり、『America 250』の共著者であるアレック・タイソン氏は次のように述べています:

「今日の政治的議論の先を見据えると、建国の原則や理想について米国人の間で幅広い一致が見られ、また、この国が体現すべき民主主義の価値観や経済的機会に対する肯定的な認識も確認できます。米国が建国250周年を迎えるにあたり、当社の最新レポートは、今もなお米国人を結びつけている基本的な信念を浮き彫りにしています。また、「より完全な国家」の追求は継続的な取り組みであると見なされ

ていることも明らかです。64%が、米国が建国の理想にかなうためには、まだやるべきことがたくさんあると答えています。」



Alec Tyson,  
Senior Vice President,  
Ipsos in the US  
[Alec.Tyson@ipsos.com](mailto:Alec.Tyson@ipsos.com)

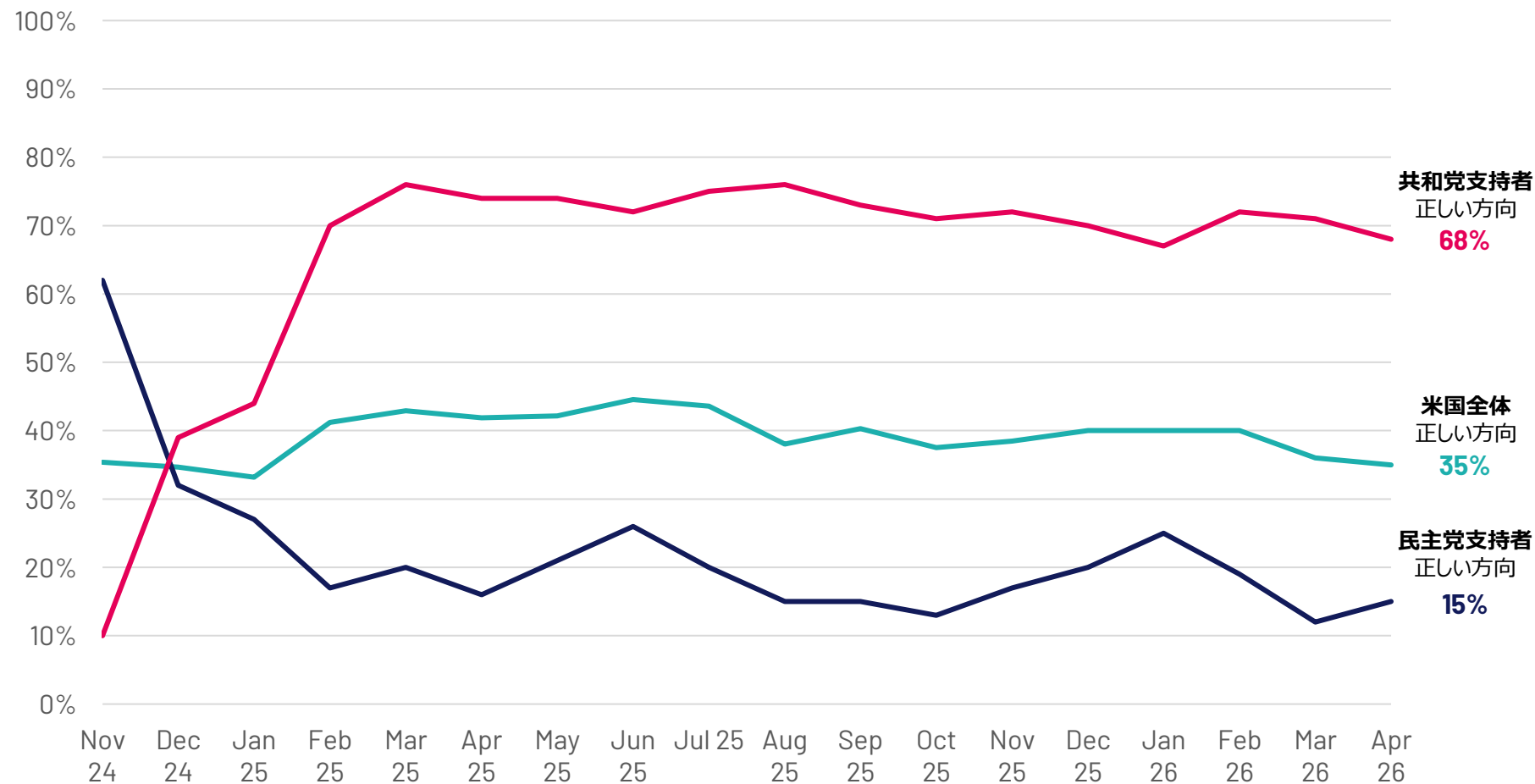
# 米国の正しい/ 間違った方向

対象: 毎月約1,000名の16~74歳の米国の代表的なサンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 米国 | 最新調査: 2026年4月

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



# 最大の懸念事項と経済：民主党vs共和党

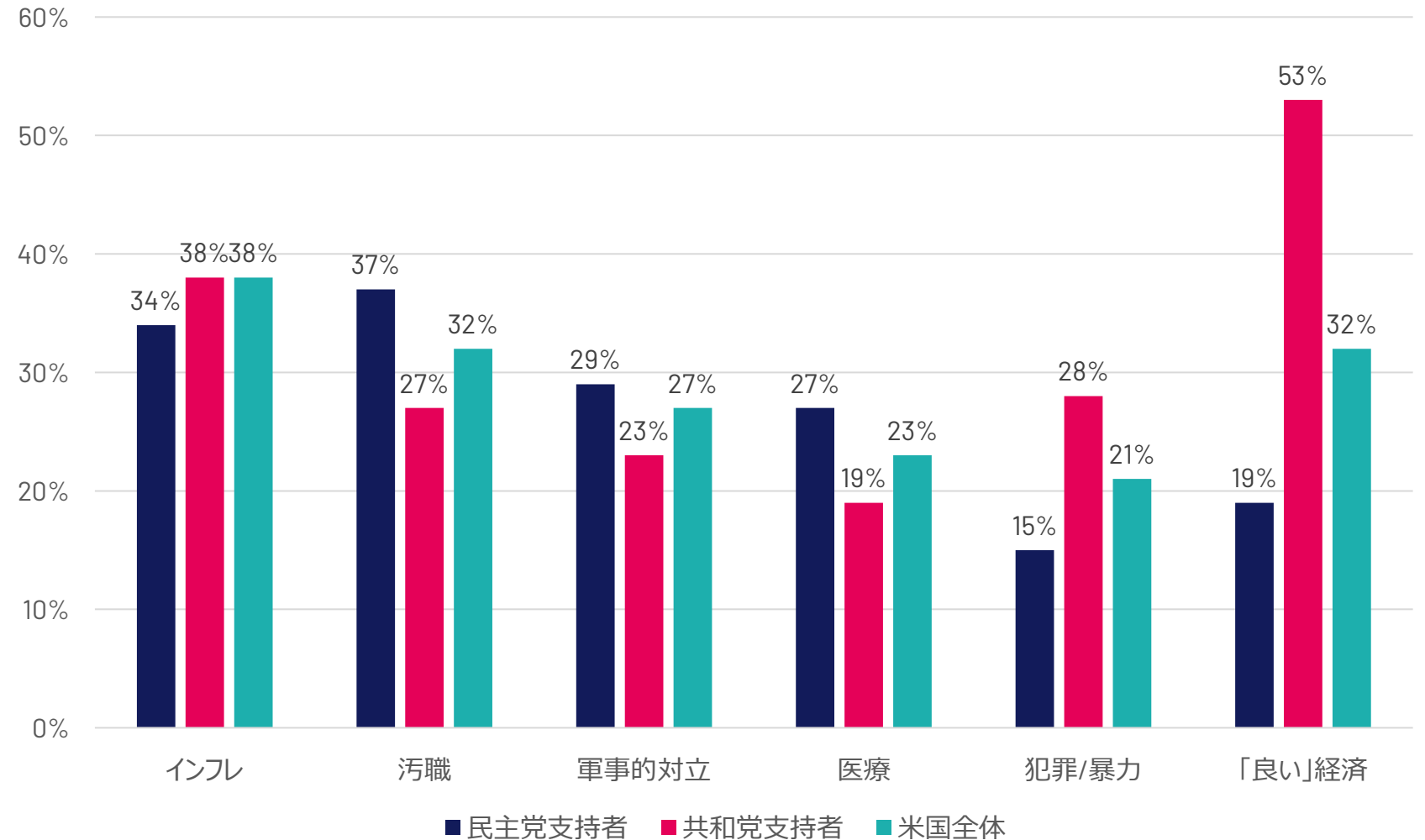
対象: 毎月約1,000名の16~74歳の米国の代表的なサンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 米国 | 最新調査: 2026年4月

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。懸念事項トップ5

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。%「とても良い」または「やや良い」



# 懸念スポットライト： 国家間の軍事的な対立

## 懸念スポットライト: 国家間の軍事的な対立

2022年4月以降、当社は国家間の軍事的な対立に対する人々の懸念を追跡調査してきました。それ以来、世界中で暴力が発生するたびに、懸念が急増する傾向が一貫して見られています。

2023年10月のイスラエルへの攻撃後、30か国におけるこの問題を挙げた人の割合は、2023年11月に4ポイント上昇し、10%となりました。さらに、2025年6月に米国がイランを最初に攻撃した際、懸念は6月の11%から7月には15%に上昇しました。しかし、今月は軍事紛争を挙げた割合が7ポイント上昇し、過去最高の19%を記録したことで、懸念の変動

が最も大きくなりました。

30か国のうち26か国で懸念が高まっており、そのうち9か国では2桁の増加が見られました。

この紛争の性質上、インフレへの懸念も急増しています。先月から4ポイント上昇し、30か国全体の3分の1(33%)がインフレを挙げ、再び最大の懸念事項となっています。

# 19%

が、自国が直面している主要な課題の一つとして、**国家間の軍事的な対立**を挙げています。

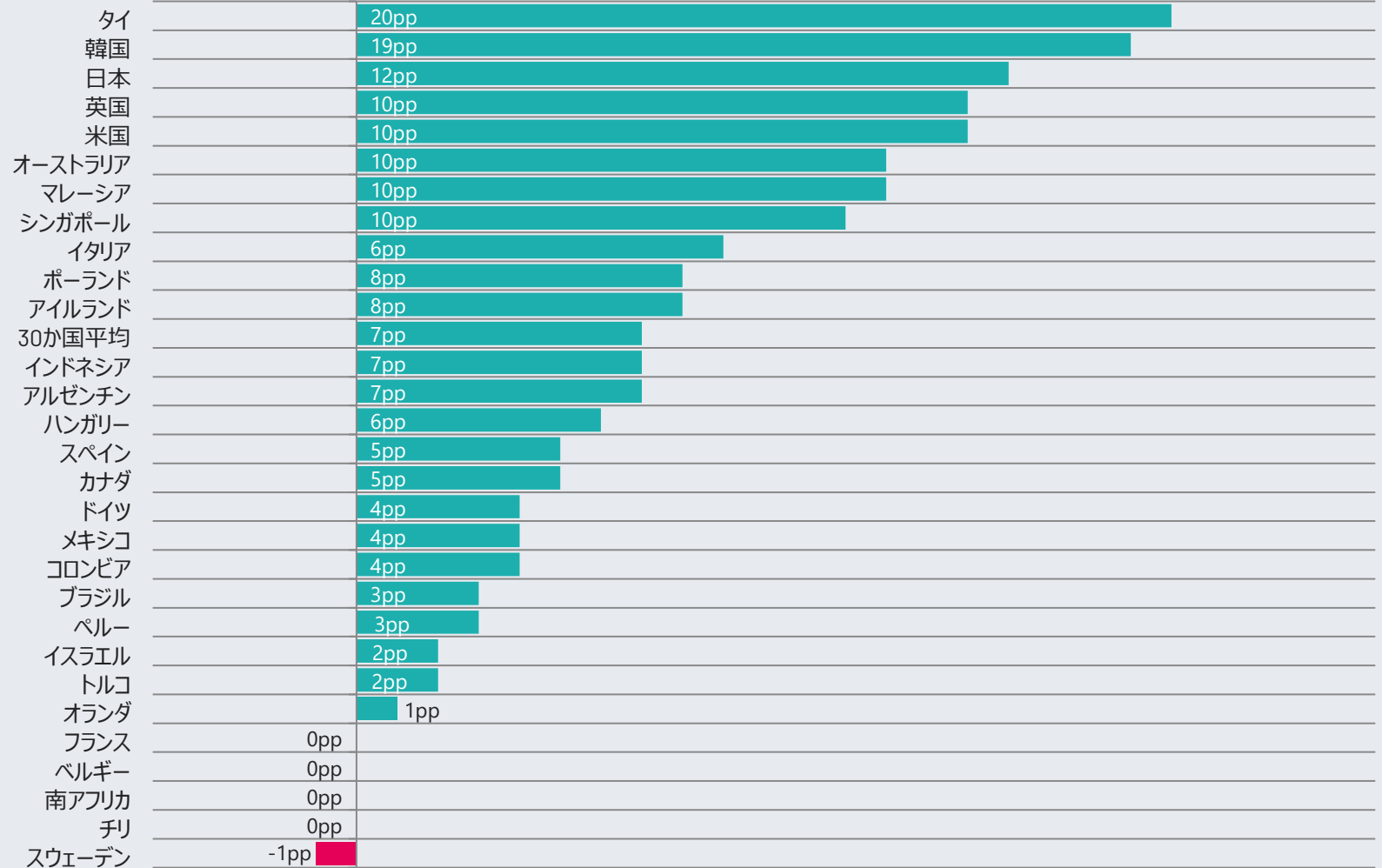
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

# 懸念スポットライト ト: 国家間の軍事的な対立

2025年4月から2026年4月までの変化率(パーセントポイント)

2026年4月 対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

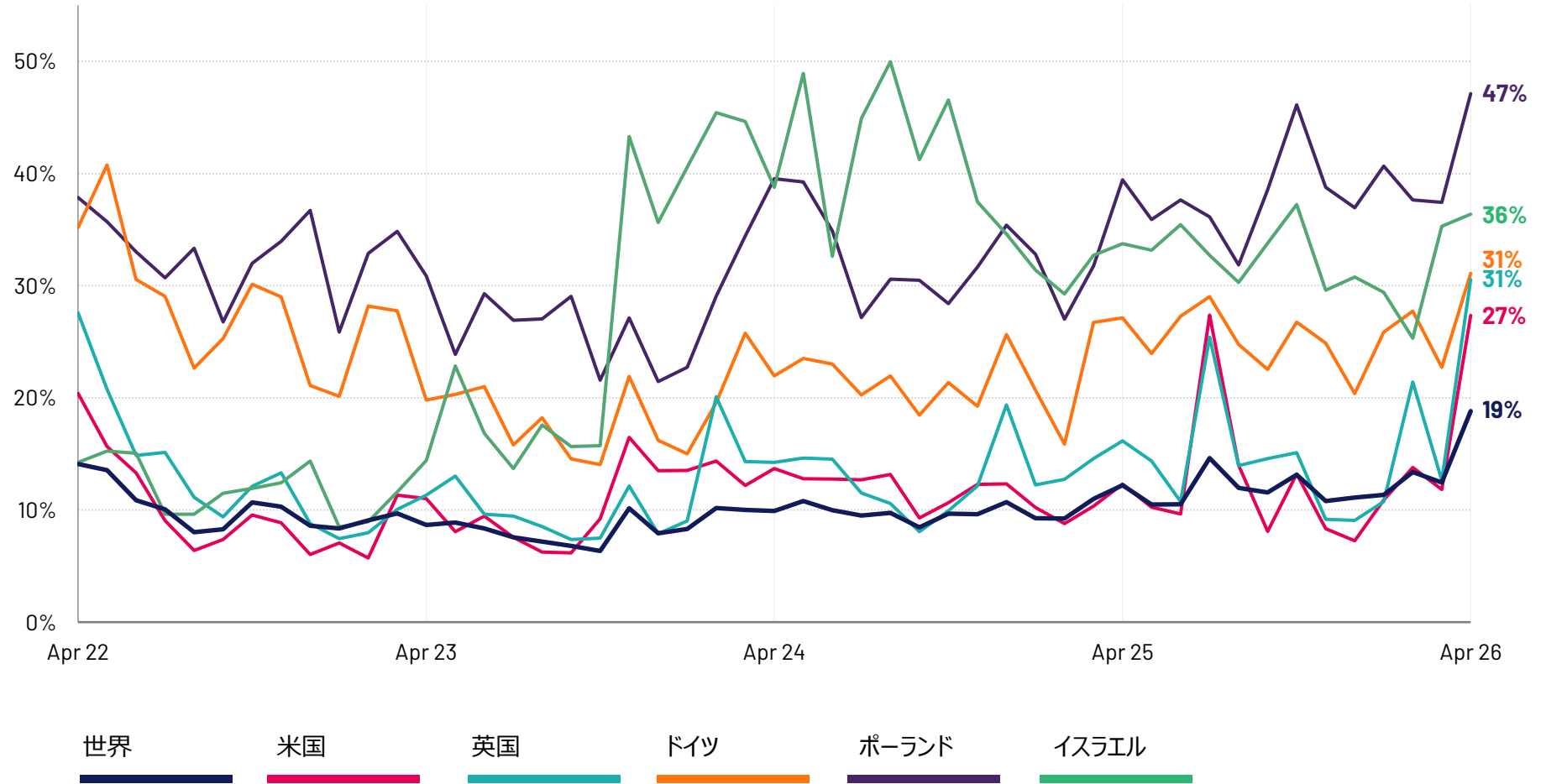
出典: イプソスグローバルアドバイザー。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。



# 懸念スポットライト ト: 国家間の軍事的な対立

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。



# 各国が進む方向

全対象国

# 正しい方向/ 間違った方向 モニター

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

30か国で、自国が「正しい方向に向かっている」と答えた人は5分の2弱(38%)でした。

イスラエルでは、自国が正しい方向に向かっていると答えた人の割合が前月比14ポイント増の45%となり、前年同月比でも15ポイント上昇するなど、最も大きな変化が見られました。これは、47%が前向きな見方を示した2021年12月以来、同国で最も楽観的な数値です。興味深いことに、イスラエルは自国の経済についても楽観的な見方を示している数少ない国の一つであり、49%が経済状況は「良い」と回答しており、これは先月から10ポイント上昇して

います。

# 38%

(30か国)が、自国が「正しい方向に向かっている」と答えています。

# 正しい方向/ 間違った方向 モニター

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

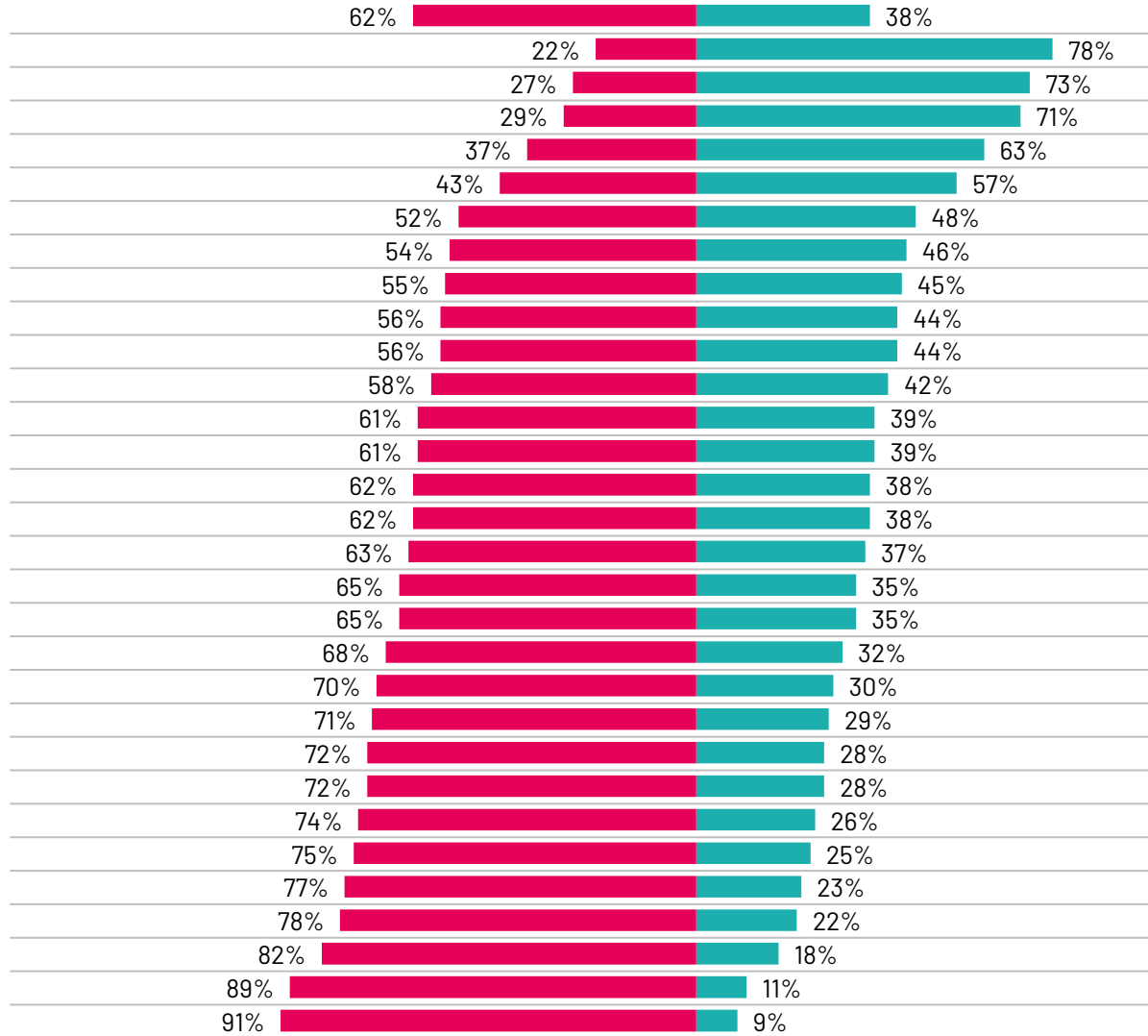
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

## 国

世界
シンガポール
インド
マレーシア
韓国
インドネシア
コロンビア
アルゼンチン
イスラエル
タイ
チリ
カナダ
ポーランド
日本
アイルランド
オーストラリア
スペイン
米国
メキシコ
ブラジル
スウェーデン
南アフリカ
オランダ
ベルギー
トルコ
イタリア
ハンガリー
英国
ドイツ
ペルー
フランス

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。(2026年4月)



正しい方向

間違った方向

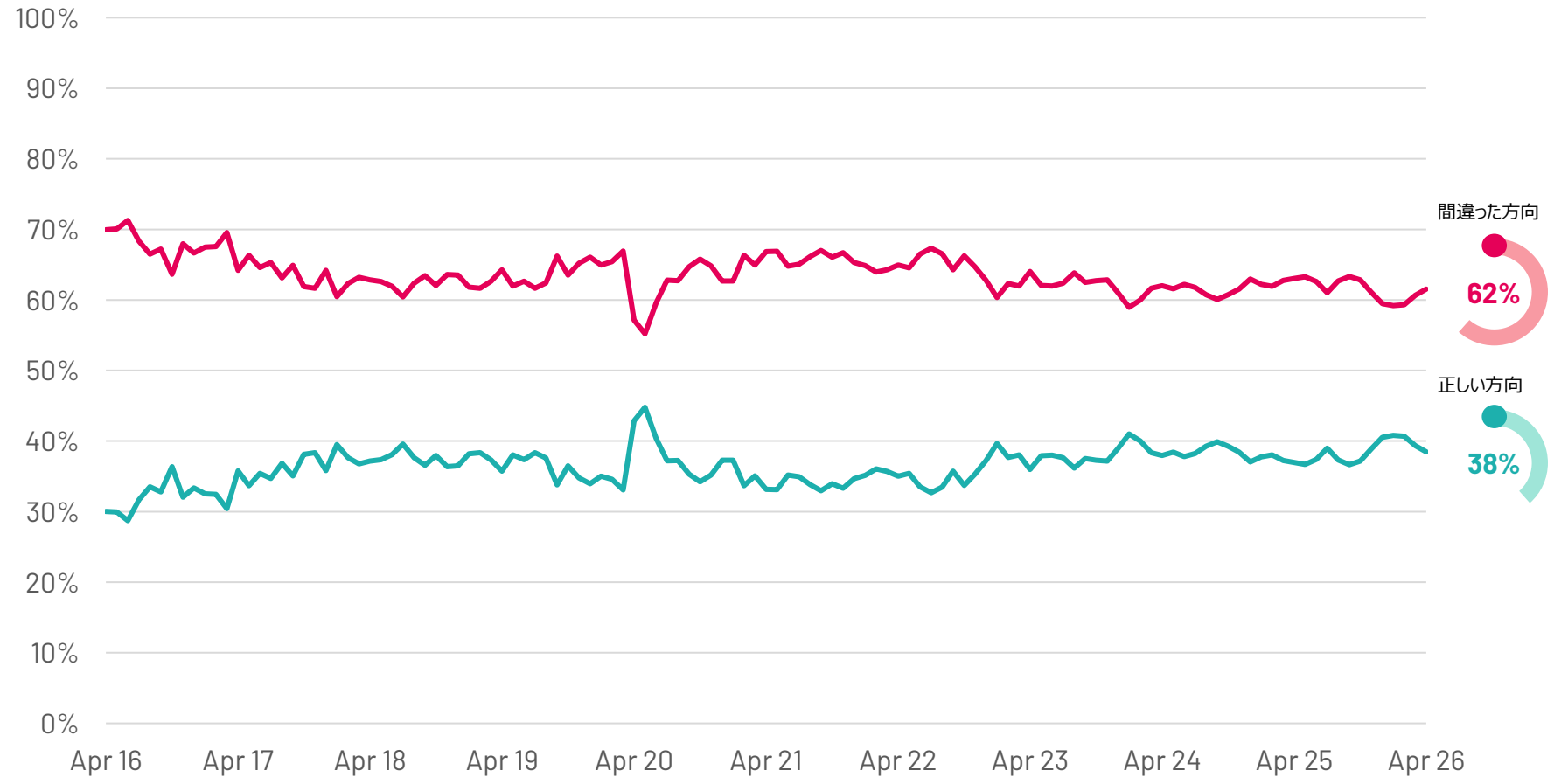
# 世界の正しい/ 間違った方向

世界各国の平均スコア

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



# 世界が懸念していることは？

ランキング上位の懸念事項

# 世界の懸念事項: 全リスト

対象: 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

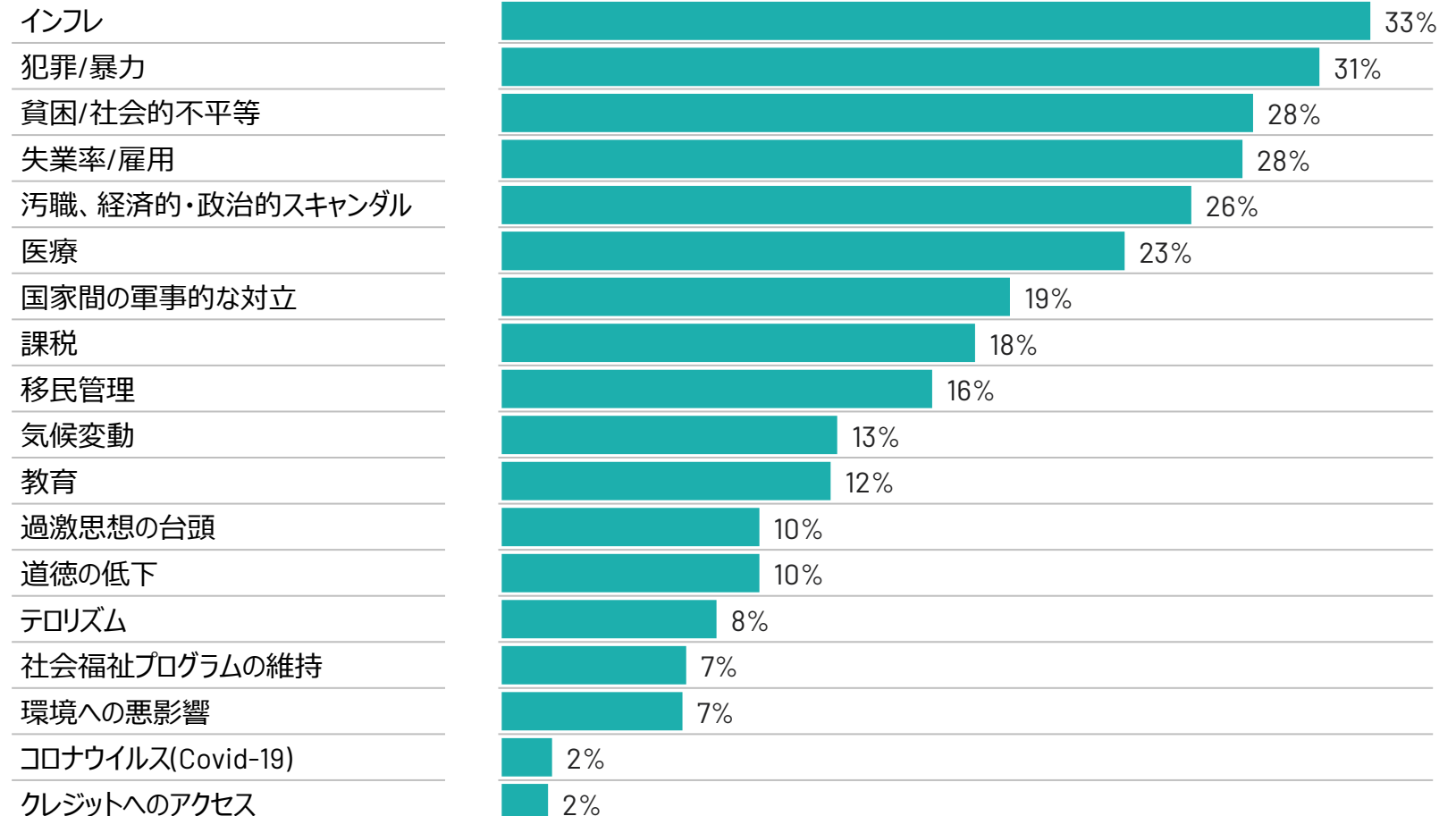
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

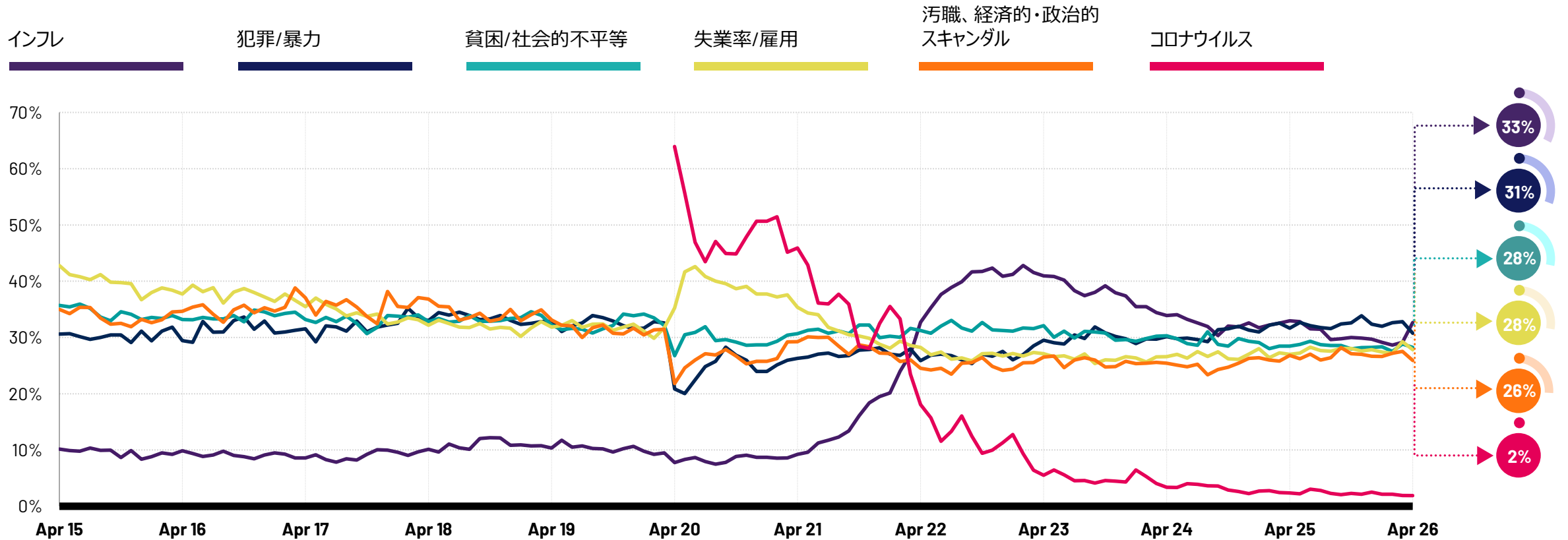
## 懸念事項

## 2026年4月の回答率(世界各国平均)



# 世界の懸念: 長期的トレンド

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。世界各国平均



対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

# 1. インフレ

現在、イラン戦争やホルムズ海峡封鎖による経済的影響が見え始めているようです。30か国全体で、インフレを挙げた割合は先月から4ポイント上昇しました。

懸念は広範囲に及んでおり、調査対象30か国のうち21か国で、先月と比較して何らかの形で懸念が高まっています。

アジア太平洋地域はこの紛争の影響を最も強く受けている可能性があり、オーストラリア(49%)、マレーシア(36%)、日本(36%)、インドネシア(28%)のすべてで懸念が高まっています。例えば、日本では懸念度が5ポイント上昇し、過去10年間で最高値を記録しました。

同様に、ヨーロッパでも懸念が高まっており、特にフランス(38%)では、先月と比べて12ポイント上昇しました。英国(35%)は8ポイント上昇、スペイン(33%)も5ポイント上昇、

イタリア(32%)は9ポイント上昇、ベルギー(30%)は8ポイント上昇しています。

# 33%

が、**インフレ**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

## インフレが最大の懸念事項となっている国:

- シンガポール(58%)
- 米国(38%)
- トルコ(50%)
- フランス(38%)
- オーストラリア(49%)
- アイルランド(36%; 医療と同率)
- カナダ(47%)
- 日本(36%)

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

# 1. インフレ

対象: 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

国	インフレを懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	33%	+4	=
シンガポール	58%	+2	+2
トルコ	50%	-1	-5
オーストラリア	49%	+6	+3
カナダ	47%	-2	-6
チリ	42%	+20	+24
韓国	42%	+2	+4
米国	38%	=	-2
フランス	38%	+12	+7
マレーシア	36%	+8	+1
ハンガリー	36%	+6	-13
日本	36%	+5	+1
アイルランド	36%	-1	+3
アルゼンチン	36%	=	-5
英国	35%	+8	+5
ポーランド	34%	+9	-3
スペイン	33%	+5	+4
イタリア	32%	+9	+4
ドイツ	31%	+3	-4
ベルギー	30%	+8	+5
メキシコ	29%	=	=
インドネシア	28%	+12	+6
タイ	27%	+4	-4
インド	24%	N/A	N/A
ブラジル	23%	+1	-13
南アフリカ	21%	+4	-2
オランダ	21%	なし	-2
ペルー	18%	+3	+4
コロンビア	17%	-2	-2
スウェーデン	17%	+1	-8
イスラエル	12%	=	-3

## 2. 犯罪/暴力

30か国全体で、犯罪/暴力を挙げた割合は31%に低下しました。30か国のうち21か国では、懸念の度合いに何らかの減少が見られました。

チリでは、選挙後の世論と地政学的な懸念が混在している可能性があります。犯罪に対する懸念度は先月から急激に低下し、10ポイント減の49%となりました。これは2022年2月(48%)以来の最低水準です。チリでは、犯罪への懸念はインフレと逆相関関係にあるようで、インフレへの懸念度は20ポイント上昇して42%となっています。

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

# 31%

が、**犯罪と暴力**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

### 犯罪と暴力が最大の懸念事項となっている国:

- ペルー(70%)
- ブラジル(47%)
- メキシコ(60%)
- コロンビア(44%)
- スウェーデン(59%)
- イタリア(35%)
- チリ(49%)

## 2. 犯罪/暴力

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

国	犯罪/暴力を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	31%	-2	-1
ペルー	70%	+6	-5
メキシコ	60%	-1	+2
スウェーデン	59%	+1	-2
南アフリカ	54%	-2	+3
チリ	49%	-10	-17
ブラジル	47%	-1	+1
コロンビア	44%	+7	+7
トルコ	38%	+2	+14
アルゼンチン	37%	=	-12
イタリア	35%	-3	+8
イスラエル	33%	-12	=
フランス	33%	-5	-4
オーストラリア	31%	-3	-3
マレーシア	29%	-3	-1
インド	26%	N/A	N/A
アイルランド	26%	-4	-2
ベルギー	25%	-3	-2
タイ	24%	+1	-3
ドイツ	24%	-8	-6
オランダ	22%	=	+1
英国	22%	-1	-2
米国	21%	-2	-3
カナダ	19%	-1	+1
スペイン	19%	=	+2
韓国	18%	-1	+6
インドネシア	16%	-4	-4
日本	15%	-4	-4
ハンガリー	9%	-6	-2
ポーランド	9%	-4	-1
シンガポール	8%	+1	-2

### 3. 貧困/社会的 不平等

30か国における貧困/社会的不平等を挙げた割合は、今月わずかに低下し28%となりました。

ドイツでは、懸念事項の優先順位が先月から変化し、現在「不平等」が最優先課題となっています。3月と比較して3ポイント上昇し、これを挙げたドイツ人の割合は現在36%となっており、これは昨年同時期より5ポイント高い数値です。

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

# 28%

が、**貧困と社会的不平等**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

#### 貧困と社会的不平等が最大の懸念事項となっている国:

- ドイツ(36%)

### 3. 貧困/社会的 不平等

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

国	貧困/社会的不平等を懸念していると回答した人の割合	前月からの 変化	12か月間 の変化
世界	28%	-1	=
インドネシア	45%	-5	+4
タイ	41%	+6	+2
アルゼンチン	41%	-3	+2
ハンガリー	38%	-5	-2
ドイツ	36%	+3	+5
ブラジル	36%	=	+2
トルコ	35%	-3	+1
日本	34%	+2	+1
ペルー	33%	-1	+1
アイルランド	32%	+7	+5
オランダ	30%	-5	-1
コロンビア	30%	+2	-2
メキシコ	30%	+5	+5
南アフリカ	29%	-4	-2
チリ	27%	+2	+4
韓国	26%	+2	+6
ベルギー	26%	-2	-1
イタリア	26%	-1	-2
スペイン	25%	+1	+1
オーストラリア	25%	-1	-3
スウェーデン	24%	=	+3
カナダ	24%	=	-1
フランス	22%	-4	-2
マレーシア	21%	-3	-9
英国	21%	-6	-8
イスラエル	20%	-2	-9
インド	20%	N/A	N/A
シンガポール	19%	=	=
ポーランド	16%	-3	-2
米国	15%	-3	-7

## 4. 失業率/雇用

30か国において失業を挙げた割合は、今月わずかに低下し、28%となりました。

南アフリカでは、懸念の度合いがわずかに上昇し、10人中7人近く(68%)となりました。これは昨年同時期より6ポイント高い数値です。しかし、2021年5月以来、失業が主要な課題となっている同国においては、これは比較的典型的な数値と言えます。

一方、スウェーデンでは、懸念度が前月から12ポイント低下し、5人に1人(21%)となりました。これは2024年12月(同じく21%)以来の最低水準です。

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

# 28%

が、**失業率/雇用**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

### 失業率と雇用が最大の懸念事項となっている国:

- 南アフリカ(68%)
- アルゼンチン(57%)
- インド(43%)
- 韓国(43%)

# 4. 失業率/雇用

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

国	失業率/雇用を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	28%	-1	+1
南アフリカ	68%	+2	+6
アルゼンチン	57%	-3	+11
インドネシア	51%	-1	+5
シンガポール	48%	-2	+7
インド	43%	N/A	N/A
韓国	43%	-6	+5
コロンビア	39%	+3	-5
チリ	35%	-2	+4
メキシコ	32%	-4	-4
イタリア	31%	-1	-2
ペルー	29%	+2	-5
マレーシア	27%	-2	-3
トルコ	27%	+1	+2
スペイン	26%	-1	-5
ポーランド	23%	-7	+4
タイ	22%	=	-9
ベルギー	21%	-7	+2
スウェーデン	21%	-12	-7
オーストラリア	21%	+2	+3
カナダ	21%	-7	-2
英国	19%	-4	+2
アイルランド	19%	+1	-2
ハンガリー	18%	+2	+1
米国	17%	-1	+1
ブラジル	17%	+2	+1
日本	14%	-2	-3
ドイツ	14%	+1	+3
フランス	13%	+1	+3
イスラエル	11%	-2	+1
オランダ	6%	-1	+1

## 5. 汚職、経済的・政治的スキャンダル

先月からわずかに減少しましたが、現在、30か国で4分の1(26%)が、汚職、経済的・政治的スキャンダルが問題であると回答しています。

インドネシアでは、国営石油会社プルタミナ(Pertamina)が関与した注目度の高い汚職事件が発生し、燃料ターミナルの不正リースや石油の違法輸入に関与したとして、元CEOを含む数名が収監されました。この事件以降、同国における懸念度は10ポイント低下し、58%となりました。これは昨年4月より12ポイント低く、2025年1月(56%)以来の最低水準です。司法制度が機能していることにより、人々の懸念が柔らんで

いる可能性が示唆されています。

# 26%

が、**汚職、経済的・政治的スキャンダル**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

**汚職、経済的・政治的スキャンダルが最大の懸念事項となっている国:**

- インドネシア(58%)
- タイ(49%)
- マレーシア(48%)

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

# 5. 汚職、経済的・政治的スキャンダル

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

国	汚職、経済的・政治的スキャンダルを懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	26%	-2	-1
インドネシア	58%	-10	-12
ペルー	54%	=	-2
ハンガリー	52%	=	+5
南アフリカ	50%	+1	+12
タイ	49%	-5	+10
マレーシア	48%	-1	=
ブラジル	39%	-3	+11
コロンビア	34%	-3	-7
米国	31%	-2	+1
メキシコ	30%	+1	+3
インド	29%	N/A	N/A
チリ	29%	-2	-4
スペイン	29%	-5	+2
アルゼンチン	28%	+4	+1
韓国	27%	-5	-18
イスラエル	26%	-4	-7
トルコ	24%	-2	-13
ポーランド	22%	=	+4
カナダ	13%	+1	-3
オーストラリア	12%	-3	-1
ベルギー	12%	-1	-1
フランス	11%	-2	+3
日本	11%	-1	-13
アイルランド	10%	-2	+1
イタリア	10%	-3	-1
英国	9%	-6	-1
ドイツ	9%	-1	+2
スウェーデン	8%	=	-2
オランダ	8%	+3	+1
シンガポール	5%	=	-6

## 6. 医療

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

30か国における医療を選択した割合は、現在23%となっています。

英国では、ここ3年ほどの間に優先順位が変化しています。2023年10月から2025年6月にかけて、医療は英国の最大の懸念事項であり、2024年7月には50%と10年ぶりの高水準を記録しました。しかし、2025年の夏には、その懸念度は低下し、移民問題への懸念が最大の課題となりました。今月は新たな節目を迎えており、医療を挙げた英国人の割合は8ポイント低下して30%となり、これは2022年7月(31%)以来の最低水準です。現在、医療は英国で4番目に大きな懸念事項と

なっています。

### 医療が最大の懸念事項となっている国:

- ハンガリー(62%)
- アイルランド(36%; インフレと同率)
- スペイン(35%)

# 23%

が、**医療**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

# 6. 医療

対象: 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

国	医療を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	23%	-1	=
ハンガリー	62%	=	+3
ポーランド	46%	+1	+3
カナダ	41%	-1	-1
コロンビア	38%	-2	+6
アイルランド	36%	-6	-5
スペイン	35%	+2	+4
ブラジル	35%	=	-2
シンガポール	33%	-2	+2
イタリア	31%	-5	-5
英国	30%	-8	-9
フランス	27%	=	+3
オランダ	26%	-8	+1
スウェーデン	23%	+2	+3
米国	23%	-4	-1
ドイツ	23%	+1	+6
ペルー	21%	+4	+7
オーストラリア	21%	-6	-10
メキシコ	21%	+2	+1
ベルギー	19%	=	-3
インド	18%	N/A	N/A
チリ	15%	-2	-1
南アフリカ	14%	=	-3
日本	12%	=	+1
アルゼンチン	12%	=	-2
イスラエル	11%	+2	+5
マレーシア	9%	-2	-1
タイ	7%	=	-2
インドネシア	5%	-1	-1
トルコ	5%	-2	+1
韓国	5%	=	-7

## 7. 国家間の軍事的な対立

30か国において、国家間の軍事的な対立を挙げた割合は、先月から7ポイント上昇し、5分の1(19%)となりました。これは、ロシアによるウクライナへの全面侵攻を受けて2022年4月にこの懸念項目が調査リストに追加されて以来、最も高い数値です。

30か国のうち26か国で懸念が高まっており、9か国では2桁の増加が見られました。

米国の数値は15ポイント上昇して27%となり、これは2025年7月と同水準です。同年のイランへの攻撃を受けてのことでした。

英国では18ポイント増の31%と最も

大きな上昇幅を記録し、同国としては過去最高となりました。

ポーランドが最も懸念が強く、47%がこれを挙げています。これは過去最高の数値です。

### 国家間の軍事的な対立が最大の懸念事項となっている国:

- ポーランド(47%)

# 19%

が、**国家間の軍事的な対立**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

# 7. 国家間の軍事的な対立

対象: 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

国	国家間の軍事的な対立を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	19%	+7	+7
ポーランド	47%	+10	+8
イスラエル	36%	+1	+2
ドイツ	31%	+8	+4
英国	31%	+18	+15
オランダ	30%	+10	+1
日本	29%	+8	+16
韓国	29%	+14	+19
米国	27%	+15	+15
タイ	27%	-2	+20
イタリア	27%	+15	+9
フランス	25%	+8	=
オーストラリア	23%	+16	+13
ベルギー	23%	+5	=
スペイン	21%	+14	+5
スウェーデン	20%	+2	-1
マレーシア	18%	+9	+13
アイルランド	18%	+10	+8
シンガポール	17%	+7	+12
カナダ	15%	+7	+5
インド	12%	N/A	N/A
ハンガリー	11%	+2	+6
インドネシア	11%	+6	+7
メキシコ	9%	+4	+4
アルゼンチン	8%	+4	+7
コロンビア	6%	-1	+4
ブラジル	6%	+2	+3
トルコ	4%	+2	+2
ペルー	4%	+2	+3
南アフリカ	4%	+1	=
チリ	3%	-2	=

## 8. 課税

30か国全体で、税金を選択した割合はわずかに上昇し、18%となりました。

自国が直面する主要な課題の一つとして税金を選んだドイツ人の割合は、先月から5ポイント上昇し、5人に1人(20%)となりました。これは昨年同時期より7ポイント高いだけでなく、過去10年間で最も高い数値でもあります。これは、イラン戦争の余波でエネルギー企業が過剰な利益を上げていることについて、ドイツ国内で多くのメディア報道がなされたことが要因である可能性があります。

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

# 18%

が、**課税**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

**課税が最大の懸念事項となっている国:**

- ベルギー(38%)

# 8. 課税

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

国	課税を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	18%	+1	+1
ベルギー	38%	+3	+10
日本	28%	-1	-5
イタリア	28%	+1	=
ブラジル	26%	-2	+1
フランス	25%	+4	+7
カナダ	24%	-4	-5
イスラエル	22%	+5	+2
トルコ	21%	=	+5
ドイツ	20%	+5	+7
スペイン	20%	=	=
オランダ	19%	-2	+3
メキシコ	19%	+3	+6
シンガポール	18%	+2	=
英国	18%	-1	-5
アルゼンチン	18%	+5	+2
インド	17%	N/A	N/A
アイルランド	17%	=	+2
韓国	16%	=	+5
米国	16%	-1	=
オーストラリア	16%	-1	-5
ポーランド	15%	-3	-1
タイ	15%	+3	+6
スウェーデン	14%	+4	+4
インドネシア	14%	-1	-1
コロンビア	12%	-2	-1
マレーシア	11%	-2	-3
チリ	10%	+3	+2
南アフリカ	9%	+2	-12
ハンガリー	6%	-1	-1
ペルー	3%	=	-1

## 9. 移民管理

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

今月、30か国において移民管理を選択した割合は、わずかに低下して16%となりました。

チリでは、2025年12月の選挙で右派のホセ・アントニオ・カスト氏が勝利した影響が依然として続いているようです。今月、移民管理に対する懸念度はさらに7ポイント低下して23%となりました。参考までに、これは2022年1月(22%)以来の最低水準です。

ドイツでも優先順位に変化が見られ、懸念度は4ポイント低下して29%となりました。これは2023年3月(26%)以来の低水準です。ただし、これは軍事紛争などの他の問題へ

の関心が高まったことが要因である可能性があります。

### 移民管理が最大の懸念事項となっている国:

- 英国(41%)
- オランダ(33%)

# 16%

が、**移民管理**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

# 9. 移民管理

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

国	移民管理を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	16%	-1	-1
英国	41%	+5	+8
オランダ	33%	+3	+5
アイルランド	33%	-4	-3
ドイツ	29%	-4	-13
カナダ	27%	+3	+5
フランス	24%	=	-2
スペイン	23%	-4	-1
オーストラリア	23%	-5	+3
チリ	23%	-7	-24
ベルギー	22%	+1	+1
日本	22%	-2	+9
米国	20%	-1	-1
スウェーデン	19%	-2	+1
イタリア	19%	=	+2
ポーランド	17%	=	-7
トルコ	15%	-2	-7
シンガポール	14%	-6	-1
ペルー	13%	+4	+1
南アフリカ	13%	-6	+1
マレーシア	9%	-3	-4
インド	8%	N/A	N/A
コロンビア	7%	+2	-1
タイ	7%	+2	なし
イスラエル	7%	+3	+2
ハンガリー	5%	-1	=
メキシコ	4%	=	-5
アルゼンチン	4%	=	+1
韓国	3%	+1	+1
ブラジル	1%	=	-1
インドネシア	1%	=	-1

## 10. 気候変動

30か国において、気候変動を課題として挙げた人は13%でした。

オーストラリアでは、気候変動を挙げた人の割合が前月から2ポイント低下して18%となり、懸念度が過去最低を記録しました。わずかな低下ではありますが、この数値は2018年7月(当時も18%)以来、同国で最も低い水準となっています。

このトピックに関する詳細は、最新のイプソスレポート「[人類と気候変動](#)」をご覧ください。

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

気候変動が最大の懸念事項となっている国:

なし

# 13%

が、**気候変動**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

# 10. 気候変動

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

国	気候変動を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	13%	+1	-2
シンガポール	25%	+7	=
日本	23%	-5	-4
インド	20%	N/A	N/A
オランダ	18%	-1	-6
オーストラリア	18%	-2	-3
ドイツ	16%	=	-1
マレーシア	16%	+5	+2
カナダ	16%	+2	+2
アイルランド	16%	+2	=
韓国	15%	-4	-7
スウェーデン	15%	=	-2
フランス	14%	-3	-5
インドネシア	14%	+3	=
英国	14%	-1	-4
イタリア	13%	-1	-7
タイ	13%	-3	-12
米国	12%	=	-1
ポーランド	12%	+2	-3
ベルギー	12%	+1	-3
スペイン	11%	-3	-7
メキシコ	11%	-1	-5
ブラジル	10%	+1	-4
コロンビア	10%	+1	-1
トルコ	8%	-1	+3
南アフリカ	7%	-1	-1
ハンガリー	5%	-1	-3
ペルー	4%	-4	-1
イスラエル	4%	+1	+2
チリ	3%	-1	-2
アルゼンチン	3%	=	-1

# 11. 教育

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

国	教育を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	12%	-2	-1
アルゼンチン	27%	-3	=
イスラエル	24%	+2	+7
トルコ	20%	-2	+2
インド	20%	N/A	N/A
ブラジル	20%	-2	-1
ペルー	19%	-3	-2
ハンガリー	18%	+1	-2
コロンビア	18%	+2	+3
チリ	17%	-4	-1
メキシコ	16%	-2	-4
インドネシア	14%	-1	+1
フランス	13%	=	=
南アフリカ	12%	=	-4
ベルギー	12%	-4	-2
スペイン	12%	=	-2
カナダ	11%	+2	+3
ドイツ	10%	+2	+1
オランダ	9%	-4	-2
マレーシア	9%	-5	=
ポーランド	9%	+2	+1
イタリア	7%	-1	-1
スウェーデン	7%	-2	=
米国	7%	-2	-6
オーストラリア	7%	=	-2
アイルランド	7%	=	+1
韓国	6%	+1	+2
タイ	6%	-1	-3
英国	6%	-2	-3
日本	5%	=	-1
シンガポール	5%	-3	-4

# 12. 過激思想の台頭

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

国	過激思想の台頭を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	10%	=	=
イスラエル	21%	+4	-3
オランダ	20%	=	=
ドイツ	18%	-2	-2
フランス	18%	-3	-1
米国	18%	=	=
ポーランド	17%	-1	+8
英国	14%	-4	+3
オーストラリア	14%	-4	+4
スペイン	14%	-4	+1
スウェーデン	13%	=	+1
ベルギー	13%	=	-2
マレーシア	12%	-1	-2
アイルランド	11%	-1	-4
カナダ	9%	+1	-1
韓国	9%	-7	-13
ブラジル	9%	+1	+1
チリ	7%	+1	+1
イタリア	7%	-4	-1
インド	7%	N/A	N/A
ハンガリー	7%	+1	+3
トルコ	5%	=	-1
日本	5%	-2	+1
コロンビア	5%	=	+2
シンガポール	4%	-1	-1
メキシコ	4%	+1	+2
タイ	4%	+1	+1
アルゼンチン	3%	+2	-2
インドネシア	3%	+1	-1
ペルー	1%	-3	-2
南アフリカ	0%	-1	-2

# 13. 道徳の低下

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

国	道徳の低下を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	10%	-1	=
オランダ	20%	+1	+1
米国	18%	-4	+1
マレーシア	17%	+1	+3
イスラエル	15%	-1	-1
フランス	13%	-2	+2
ハンガリー	13%	=	+4
タイ	12%	-3	-3
トルコ	12%	+1	+2
日本	12%	-2	-1
英国	11%	-2	=
韓国	11%	-6	-8
ポーランド	11%	-2	=
ドイツ	11%	-1	=
スウェーデン	10%	=	+2
イタリア	9%	-1	=
ベルギー	9%	-1	=
インドネシア	9%	=	-2
シンガポール	8%	-1	-1
オーストラリア	8%	-1	-2
カナダ	7%	-1	-1
アイルランド	7%	-3	-1
ペルー	7%	-3	+1
インド	6%	N/A	N/A
アルゼンチン	6%	-6	-5
スペイン	6%	-1	=
メキシコ	6%	-1	+1
コロンビア	5%	=	-2
ブラジル	5%	=	=
チリ	4%	-2	-1
南アフリカ	3%	-2	=

# 14. テロリズム

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

国	テロリズムを懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	8%	=	=
イスラエル	38%	+6	-7
インド	18%	N/A	N/A
コロンビア	16%	-6	-2
米国	14%	+7	+5
トルコ	12%	=	-5
スウェーデン	11%	+1	+3
ベルギー	11%	+4	=
ペルー	10%	-3	-6
オーストラリア	9%	+1	+6
マレーシア	8%	-3	+2
英国	8%	+2	+2
フランス	8%	-1	-5
メキシコ	8%	-9	-2
オランダ	7%	+2	-1
タイ	7%	=	=
シンガポール	7%	+2	+2
ドイツ	7%	-1	-5
チリ	5%	-3	+1
アイルランド	5%	+1	=
インドネシア	5%	+3	+1
ポーランド	5%	+1	=
スペイン	4%	+2	-2
アルゼンチン	4%	+3	+2
イタリア	4%	=	=
カナダ	3%	+1	+1
韓国	3%	=	=
日本	2%	=	=
ブラジル	2%	=	=
南アフリカ	1%	-1	=
ハンガリー	1%	-1	=

# 15. 社会福祉政策 /福祉国家の維持

対象: 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

国	社会福祉政策/福祉国家の維持を懸念している人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	7%	=	=
スウェーデン	19%	+1	=
日本	17%	=	=
韓国	14%	+2	-1
チリ	14%	+3	+12
タイ	12%	+3	+3
オランダ	10%	-5	-1
インドネシア	10%	=	=
イタリア	8%	-1	-1
ベルギー	8%	+1	-1
スペイン	8%	-3	=
ドイツ	8%	=	+2
ハンガリー	7%	+1	+1
英国	6%	-1	-4
インド	6%	N/A	N/A
米国	5%	-1	-4
アイルランド	5%	-3	-2
メキシコ	5%	=	-1
オーストラリア	5%	-1	-2
ポーランド	5%	+1	=
マレーシア	5%	+1	=
カナダ	5%	+1	-1
コロンビア	5%	+2	=
シンガポール	4%	-2	-3
イスラエル	4%	-1	+3
フランス	3%	-2	-1
ブラジル	3%	-2	+1
アルゼンチン	2%	-1	-2
ペルー	2%	-1	+1
トルコ	2%	=	=
南アフリカ	1%	-1	=

# 16. 環境への悪影響

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

国	環境への悪影響を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	7%	=	=
オランダ	12%	-1	=
スウェーデン	12%	+1	+4
ブラジル	11%	+1	+2
インド	10%	N/A	N/A
マレーシア	10%	=	+1
チリ	10%	+4	+3
韓国	9%	+1	-1
メキシコ	8%	+1	-2
フランス	8%	=	=
ペルー	8%	+1	+4
インドネシア	7%	-3	-2
ドイツ	7%	=	=
英国	7%	+2	+2
米国	7%	=	+2
カナダ	7%	+1	+2
オーストラリア	7%	-1	-1
タイ	6%	=	-2
日本	6%	-2	-2
ポーランド	6%	-2	-3
ベルギー	6%	-1	-1
コロンビア	5%	=	-3
スペイン	5%	-1	-2
シンガポール	5%	-2	-3
イタリア	4%	-2	-5
イスラエル	4%	-3	=
トルコ	4%	=	=
アイルランド	4%	-2	-1
ハンガリー	4%	+1	=
アルゼンチン	4%	-1	+1
南アフリカ	2%	+1	-1

# 17. コロナウイルス (Covid-19)

対象: 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

国	コロナウイルス(Covid-19)を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	2%	=	=
タイ	7%	+3	=
マレーシア	5%	-1	-1
インド	4%	N/A	N/A
インドネシア	3%	-1	=
シンガポール	3%	-2	-3
韓国	3%	+1	+1
トルコ	3%	-1	+1
アイルランド	3%	+1	=
イスラエル	2%	+1	+1
カナダ	2%	+1	+1
メキシコ	2%	=	-2
南アフリカ	2%	+1	=
オーストラリア	2%	+1	=
ハンガリー	2%	+1	+1
日本	2%	=	-1
ベルギー	2%	=	=
ブラジル	1%	=	-2
ペルー	1%	=	=
アルゼンチン	1%	=	=
米国	1%	-1	-1
ポーランド	1%	-1	=
チリ	1%	=	-1
コロンビア	1%	=	=
スウェーデン	1%	=	+1
スペイン	1%	=	-1
オランダ	1%	=	=
英国	1%	+1	-1
イタリア	1%	+1	=
フランス	0%	-1	-1
ドイツ	0%	-2	-1

# 18. クレジットへのアクセス

対象: 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

国	クレジットへのアクセスを懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	2%	=	=
アルゼンチン	5%	+2	+2
コロンビア	3%	=	+1
トルコ	3%	+2	=
シンガポール	3%	-2	=
アイルランド	3%	+2	-1
ポーランド	3%	+1	=
マレーシア	2%	-1	=
チリ	2%	-1	=
インド	2%	N/A	N/A
ベルギー	2%	+1	-1
スペイン	2%	=	=
韓国	2%	=	-1
イスラエル	2%	+1	+1
ハンガリー	2%	+1	-1
日本	2%	+1	+1
ペルー	1%	=	=
イタリア	1%	=	=
カナダ	1%	-1	=
南アフリカ	1%	=	-1
オランダ	1%	=	-1
ブラジル	1%	=	-1
英国	1%	=	=
ドイツ	1%	=	=
オーストラリア	1%	=	-1
タイ	1%	-2	-4
フランス	1%	=	-1
米国	1%	=	-1
インドネシア	1%	=	-1
メキシコ	1%	-1	-1
スウェーデン	0%	-1	-1

# 経済フォーカス

# 自国の経済状況

イプソスの**世界が懸念していること調査**と並び、毎月実施されている**世界消費者信頼感調査**は、30か国の一般消費者を対象に、国と個人のレベルにおける経済と金融について調査を実施しています。

以下のセクションでは、このデータの一部を用いて、今月の「世界が懸念していること調査」レポートの背景を説明しています。これは、国民が自国の現在の経済情勢をどのように評価しているかを示すものです。

詳細については、  
[Emilios.Louca@ipsos.com](mailto:Emilios.Louca@ipsos.com)  
までお問い合わせください。

# 現在の経済状況

30か国において、36%の人が自国の現在の経済状況を「良い」と評価しています。

中東の紛争は、特にヨーロッパやアジア太平洋地域において、人々の経済に対する認識に影響を与えているようです。

フランスでは、自国の経済状況を「良い」と答えた人の割合が前月から5ポイント低下し、7%となり、過去10年余りで最低水準を記録しました。

同様に、英国のスコアも4ポイント低下して17%となり、2022年11月(15%)以来の低水準となりました。

対象: 2026年3月20日~4月3日に、参加30か国の16~74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

# 7%

のフランス人が自国の経済状況を「良い」と回答しており、これは過去10年間で最低の水準です。

## 経済を最も懸念している国々:

- フランス(93%が「悪い」状態だと回答)
- 日本(86%)
- 英国(83%)
- ドイツ(78%)
- ハンガリー(76%)

# 現在の経済状況

対象: 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

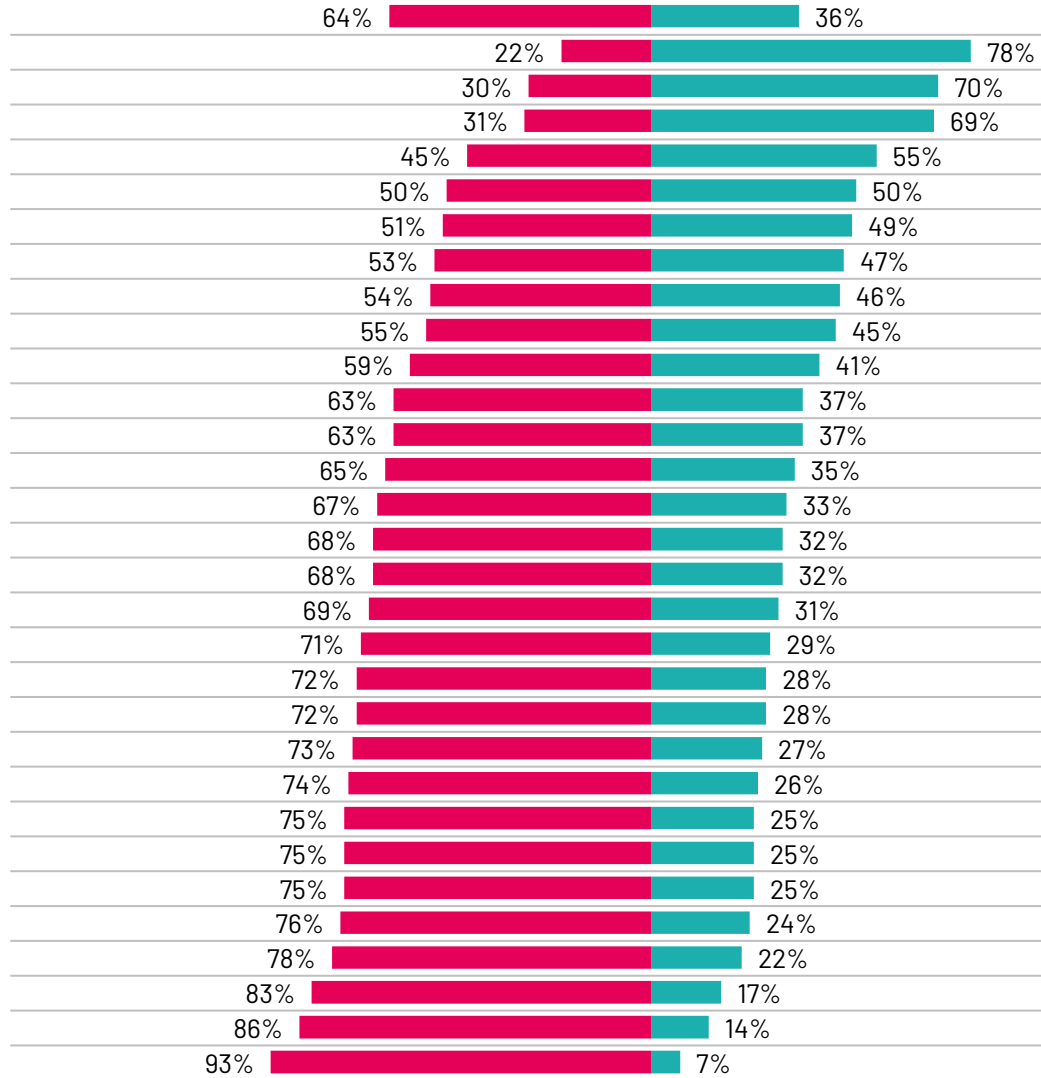
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

## 国

世界
インド
シンガポール
マレーシア
オランダ
ポーランド
イスラエル
コロンビア
アイルランド
スウェーデン
インドネシア
メキシコ
オーストラリア
スペイン
南アフリカ
米国
カナダ
ブラジル
タイ
ペルー
ベルギー
アルゼンチン
イタリア
トルコ
チリ
韓国
ハンガリー
ドイツ
英国
日本
フランス

## Q:自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



良い 悪い



## 前月からの変化 12か月間の変化

-4	-1
N/A	N/A
-6	-14
-7	-1
-4	-2
-3	+6
+10	+14
+2	+19
-4	-12
+1	+12
-5	-10
-1	-11
-11	-6
-6	-4
+7	+6
-8	-5
-4	+2
-1	-1
-17	-16
-8	+9
-4	-6
-2	-2
-5	-4
-2	+3
-15	-8
-17	+19
=	+5
-7	-6
-4	-9
-5	+4
-5	-10



# 現在の経済状況

G7

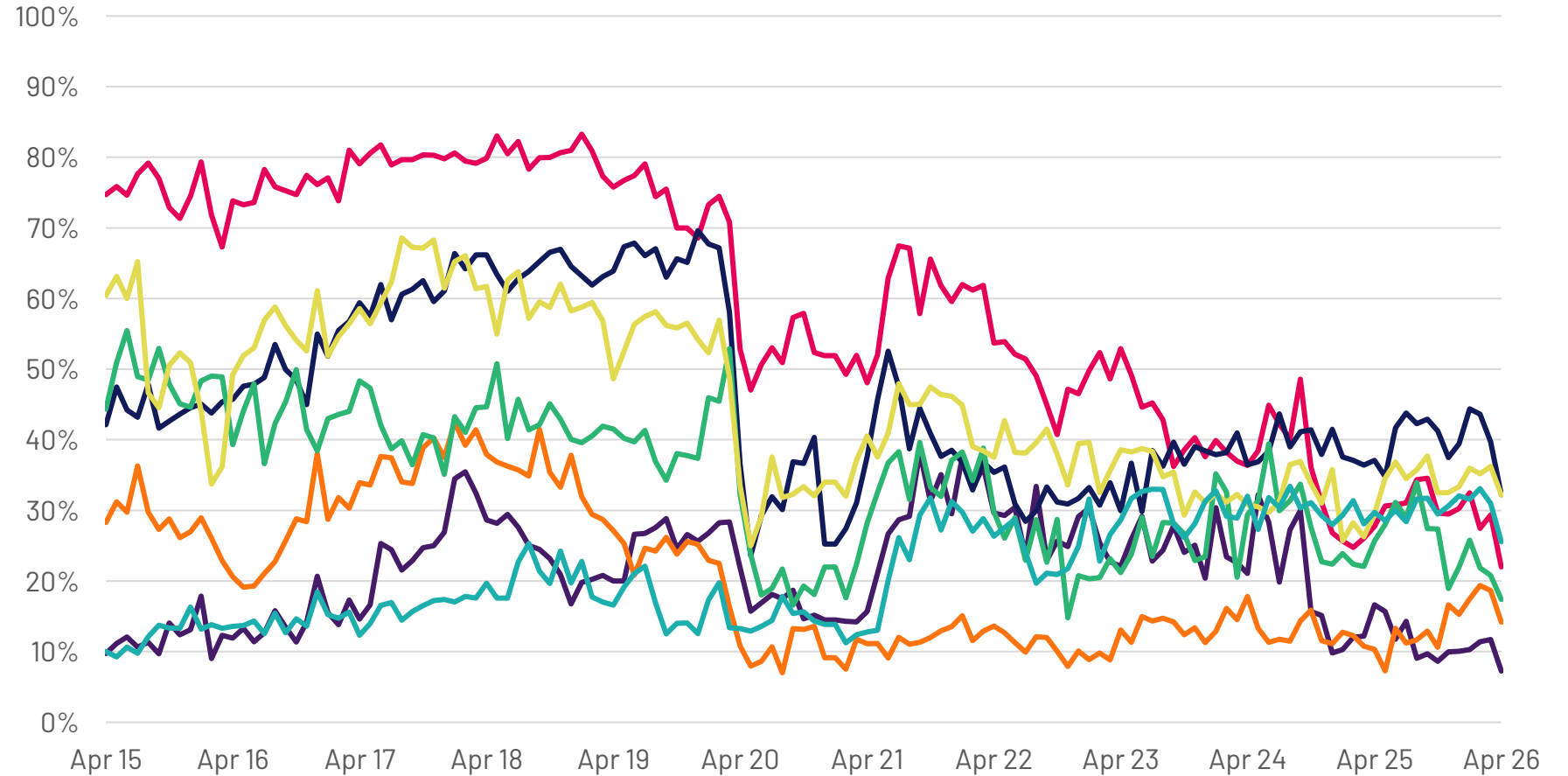
%「とても良い」または「やや良い」

対象: 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



フランス

米国

イタリア

カナダ

日本

ドイツ

英国

# 現在の経済状況

米国

%「とても良い」または「やや良い」

米国のスコアは今月8ポイント低下し、2023年6月以来の最低水準となりました。

**対象:** 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

**出典:** イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

**フィルター:** 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

カナダ

%「とても良い」または「やや良い」

カナダのスコアは先月から4ポイント低下しました。

対象: 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

イタリア

%「とても良い」または「やや良い」

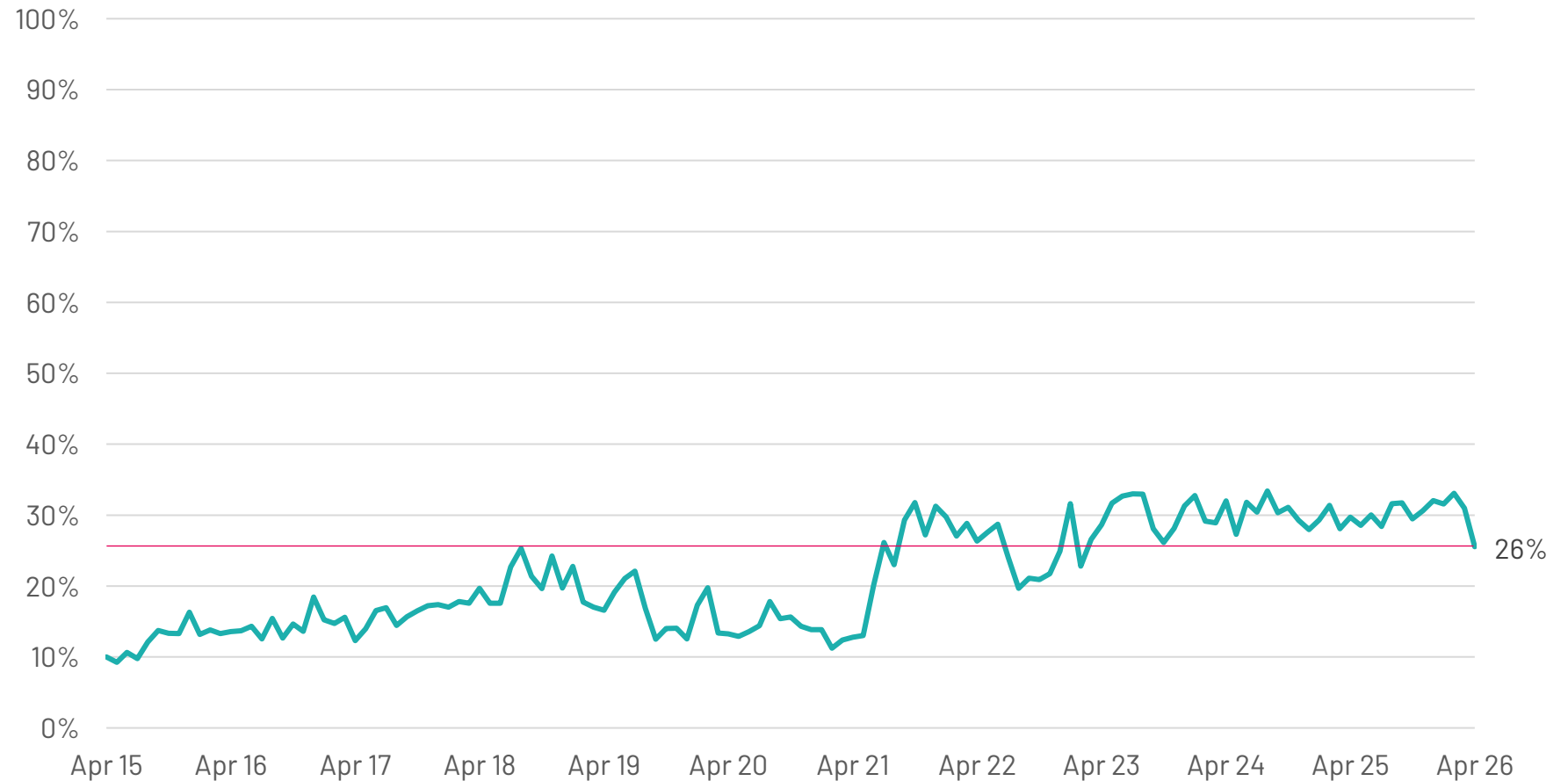
イタリアのスコアは5ポイント低下し、2023年2月以来の最低水準となりました。

対象: 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

## ドイツ

%「とても良い」または「やや良い」

ドイツのスコアは、先月から7ポイント低下し、10年ぶりの最低水準となりました。

**対象:** 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

**出典:** イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

**フィルター:** 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

英国

%「とても良い」または「やや良い」

英国は17%となり、3年ぶりの低水準を記録しました。

対象: 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

日本

%「とても良い」または「やや良い」

選挙後の上昇傾向を経て、日本のスコアは14%に低下しました。

対象: 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

## フランス

%「とても良い」または「やや良い」

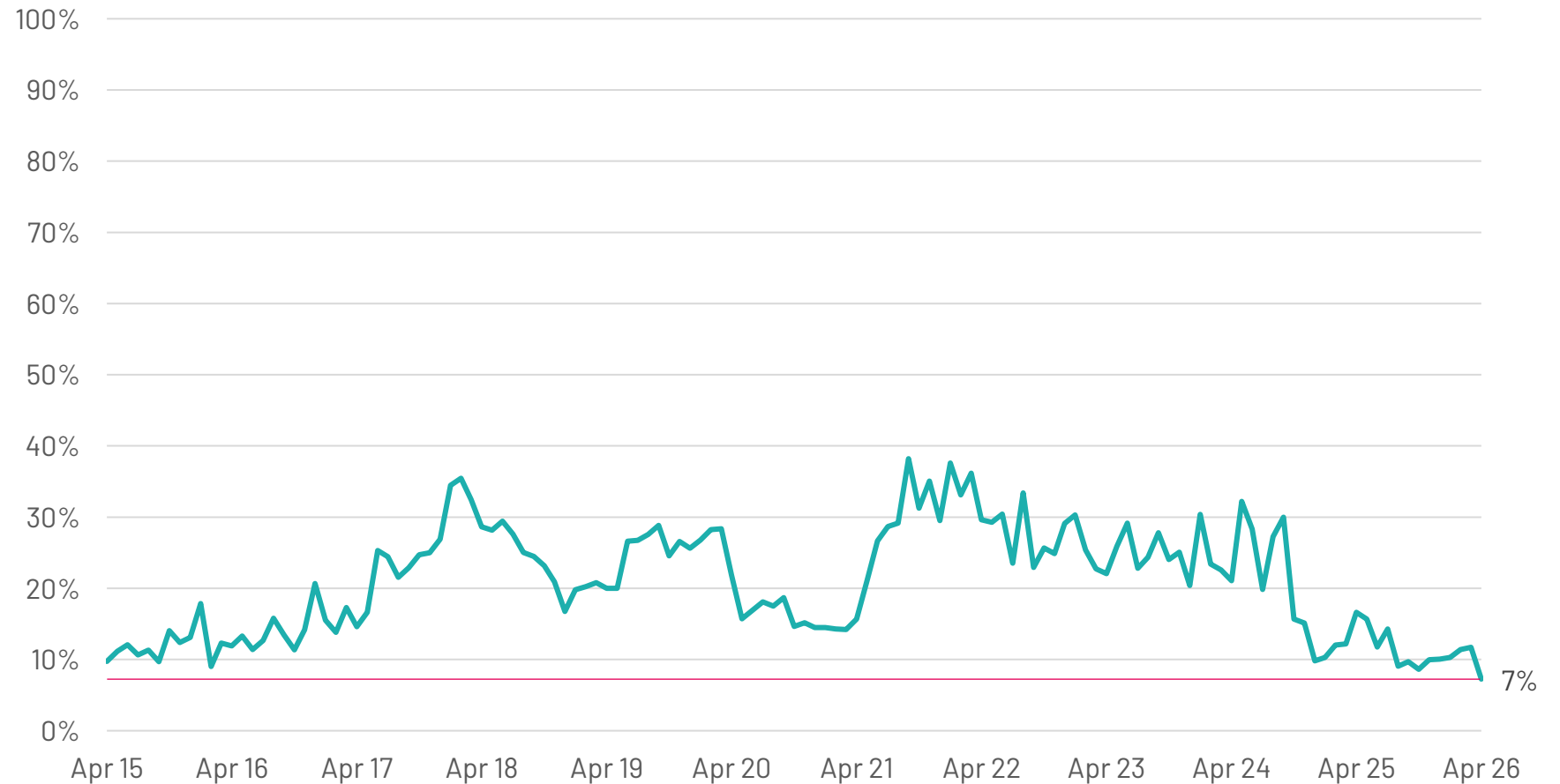
フランスはもともと悲観的な傾向がありますが、今回さらに低下し、10年ぶりの最低水準である7%に達しました。

対象: 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

## オーストラリア

%「とても良い」または「やや良い」

オーストラリアのスコアは先月から11ポイント急落し、37%と過去6年ぶりの低水準となりました。

**対象:** 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

**出典:** イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

**フィルター:** 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

チリ

%「とても良い」または「やや良い」

チリは先月から14ポイントという大幅な減少となりました。

対象: 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

## コロンビア

%「とても良い」または「やや良い」

前向きな見通しを示している数少ない国の一つであるコロンビアでは、この割合がわずかに上昇し、47%となりました。

**対象:** 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

**出典:** イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

**フィルター:** 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

## イスラエル

%「とても良い」または「やや良い」

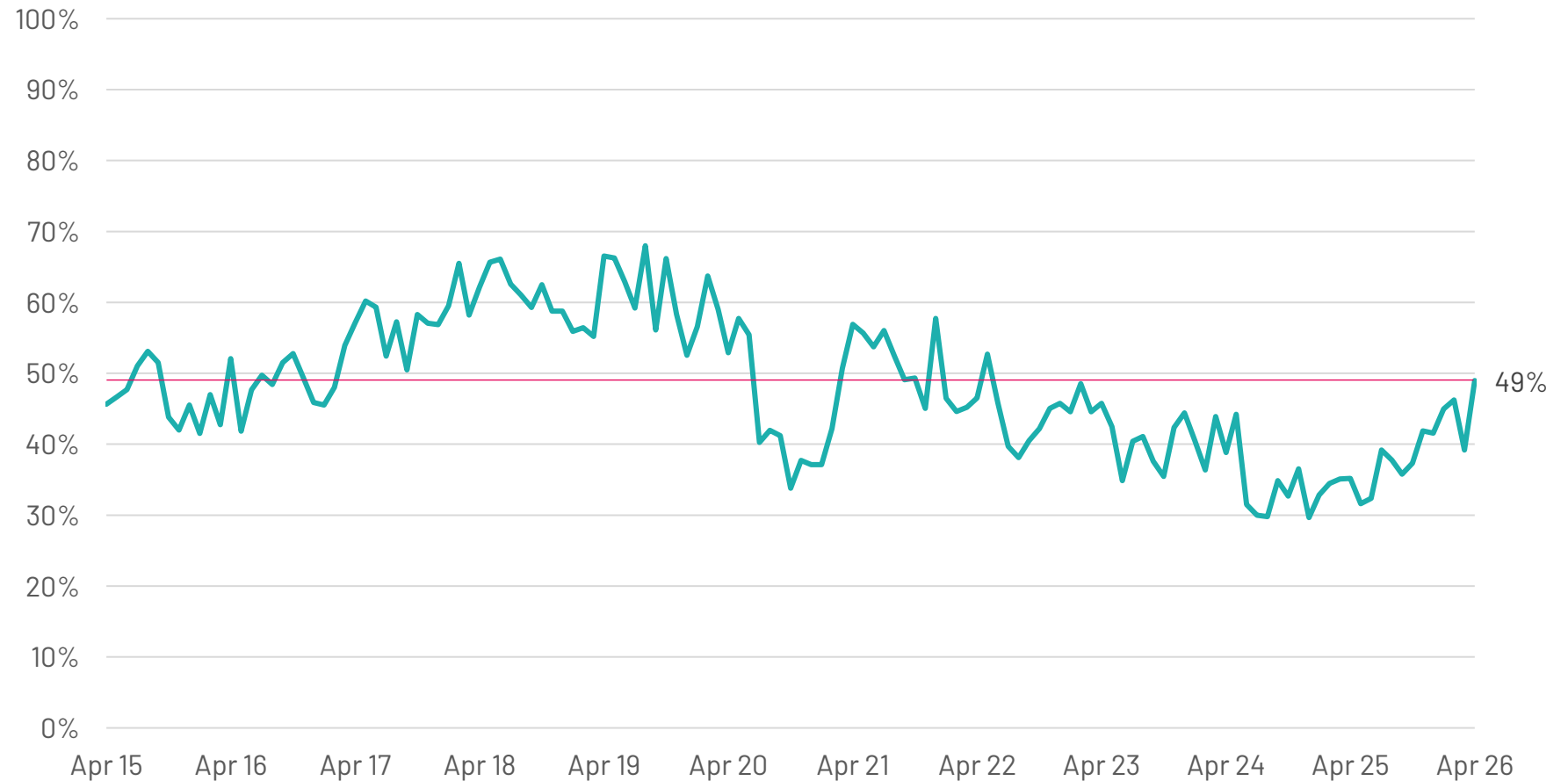
イスラエルは、前月比で10ポイント増の49%となり、2桁の増加を記録した唯一の国です。

**対象:** 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

**出典:** イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

**フィルター:** 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

韓国

%「とても良い」または「やや良い」

選挙後の高水準から一転、韓国のスコアは17ポイント下落しました。

対象: 2026年3月20日～4月3日に、参加30か国の16～74歳の24,032人を対象とした代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは各国の平均値。詳細は調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 最新調査: 2026年4月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 調査手法

これは、2026年3月20日(金)から4月3日(金)にかけて、イプソスが自社のオンラインプラットフォーム「Global Advisor」を用いて実施した30か国を対象とした調査の結果です。本調査において、イプソスはインドでは18歳以上、カナダ、アイルランド、イスラエル、マレーシア、南アフリカ、トルコ、米国では18歳から74歳、タイでは20歳から74歳、インドネシアとシンガポールでは21歳から74歳、その他の国々では16歳から74歳の、計21,530名を対象にインタビューを行いました。

サンプルは、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、インド、イタリア、日本、オランダ、スペイン、米国ではそれぞれ約1,000名、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ハンガリー、インドネシア、アイルランド、イスラエル、マレーシア、メキシコ、ペルー、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国、スウェーデン、タイ、トルコではそれぞれ500名で構成されています。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、および米国のサンプルは、75歳未満の一般成人人口を代表するものとみなすことができます。ブラ

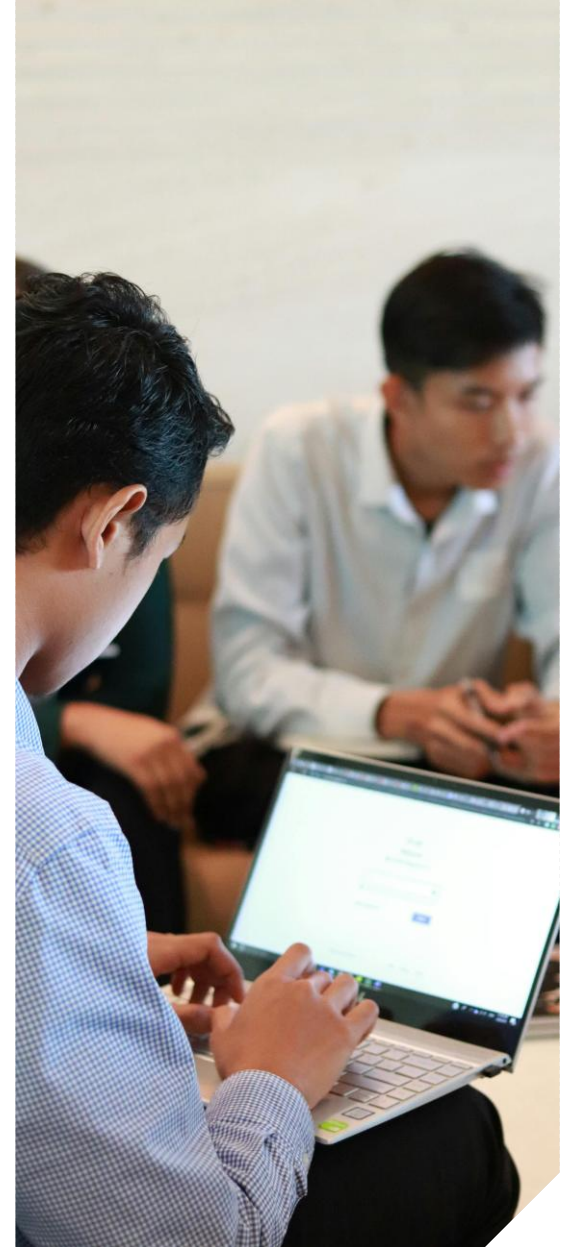
ジル、チリ、コロンビア、インド、インドネシア、アイルランド、イスラエル、マレーシア、メキシコ、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて都市部に居住し、教育水準が高く、およびまたは経済的に裕福な層が占めています。これらの国々の調査結果は、その人口の中でよりネットに精通した層の意見を反映したものとして捉える必要があります。

データは、各国のサンプル構成が最新の国勢調査データに基づく成人人口のデモグラフィックプロフィールを最もよく反映するように加重処理されています。「世界各国平均」は、調査が実施されたすべての国および市場における平均結果を反映しています。これは、各国または各市場の人口規模に合わせて調整されたものではなく、全体の結果を示すことを意図したものではありません。

合計が100%にならない場合や、「差」が実際の結果より±1パーセントポイント多くなったり少なくなったりしているように見える場合は、四捨五入、複数回答、あるいは「わからない」や回答なしの回答が除外されたことが原因である可能性があります。

イプソスのオンライン調査の精度は信頼区間を用

いて算出されており、サンプル数(N)が1,000の調査では±3.5パーセントポイント、N=500の調査では±5.0パーセントポイントの精度となります。イプソスによる信頼区間の使用に関する詳細については、イプソスのウェブサイトをご覧ください。



# THANK YOU

**CONTACT:**

[Joseph.Nadler@ipsos.com](mailto:Joseph.Nadler@ipsos.com)

**VISIT:**

[Ipsos.com](https://ipsos.com)